

令和3年度ハローワーク総合評価取組状況(安定所別:主要指標)

安定所別	主要指標	①令和3年度実績			②令和2年度実績	③過去3年度平均	過去3年度実績		
		令和3年度実績	令和2年度実績に対する割合(①/②)	対過去3年度平均比(①/③)			令和2年度	令和元年度	平成30年度
労働局	I 就職件数	44,545	97%	83%	45,598	53,584	45,598	55,170	59,983
	II 充足数	44,549	97%	83%	45,555	53,048	45,555	54,380	59,209
	III 早期再就職件数	19,072	86%	82%	22,033	23,165	22,033	23,935	23,528
札幌所	I 就職件数	6,104	99%	80%	6,153	7,572	6,153	7,793	8,770
	II 充足数	7,550	100%	84%	7,476	8,944	7,476	9,165	10,190
	III 早期再就職件数	2,768	90%	86%	3,045	3,205	3,045	3,298	3,273
函館所	I 就職件数	4,375	99%	85%	4,385	5,126	4,385	5,369	5,623
	II 充足数	4,167	99%	86%	4,193	4,833	4,193	4,948	5,358
	III 早期再就職件数	1,592	86%	79%	1,835	1,995	1,835	2,106	2,044
旭川所	I 就職件数	3,176	95%	80%	3,320	3,948	3,320	4,128	4,397
	II 充足数	3,118	94%	80%	3,299	3,874	3,299	4,052	4,272
	III 早期再就職件数	1,404	81%	76%	1,733	1,826	1,733	1,880	1,865
帯広所	I 就職件数	2,827	101%	87%	2,781	3,234	2,781	3,276	3,646
	II 充足数	2,836	99%	86%	2,850	3,279	2,850	3,290	3,697
	III 早期再就職件数	1,208	89%	83%	1,344	1,443	1,344	1,573	1,411
北見所	I 就職件数	2,023	93%	89%	2,153	2,264	2,153	2,235	2,404
	II 充足数	1,956	96%	92%	2,035	2,118	2,035	2,103	2,217
	III 早期再就職件数	629	94%	88%	669	715	669	721	754
紋別所	I 就職件数	424	94%	84%	449	504	449	526	538
	II 充足数	393	94%	87%	417	449	417	464	467
	III 早期再就職件数	110	96%	85%	114	128	114	126	144
小樽所	I 就職件数	1,503	100%	79%	1,495	1,883	1,495	1,959	2,196
	II 充足数	1,481	103%	82%	1,430	1,796	1,430	1,849	2,108
	III 早期再就職件数	512	92%	81%	553	625	553	631	692
滝川所	I 就職件数	1,402	97%	82%	1,431	1,696	1,431	1,787	1,870
	II 充足数	1,238	97%	83%	1,269	1,489	1,269	1,578	1,620
	III 早期再就職件数	340	77%	72%	441	466	441	506	452
釧路所	I 就職件数	2,787	107%	94%	2,596	2,940	2,596	2,903	3,322
	II 充足数	2,685	106%	95%	2,524	2,812	2,524	2,764	3,148
	III 早期再就職件数	850	91%	92%	925	919	925	914	917
室蘭所	I 就職件数	2,211	96%	80%	2,302	2,752	2,302	2,883	3,071
	II 充足数	2,009	94%	79%	2,135	2,537	2,135	2,651	2,824
	III 早期再就職件数	572	86%	82%	662	693	662	711	705

岩見沢所	I 就職件数	1,238	106%	89%	1,162	1,383	1,162	1,528	1,459
	II 充足数	1,188	105%	92%	1,129	1,280	1,129	1,392	1,319
	III 早期再就職件数	399	87%	81%	458	488	458	526	479
稚内所	I 就職件数	596	90%	70%	657	850	657	994	900
	II 充足数	557	88%	69%	626	806	626	945	847
	III 早期再就職件数	150	78%	74%	191	202	191	192	222
岩内所	I 就職件数	626	94%	80%	660	774	660	735	926
	II 充足数	555	89%	75%	618	736	618	708	883
	III 早期再就職件数	166	72%	73%	229	225	229	230	216
留萌所	I 就職件数	420	92%	82%	454	507	454	509	557
	II 充足数	383	90%	82%	424	462	424	453	509
	III 早期再就職件数	88	103%	82%	85	107	85	121	115
名寄所	I 就職件数	719	99%	81%	725	884	725	893	1,034
	II 充足数	680	102%	84%	665	802	665	822	919
	III 早期再就職件数	167	76%	81%	218	205	218	193	205
浦河所	I 就職件数	617	90%	75%	680	817	680	849	921
	II 充足数	550	87%	71%	629	770	629	808	873
	III 早期再就職件数	123	68%	66%	179	185	179	191	186
網走所	I 就職件数	560	96%	89%	580	627	580	635	666
	II 充足数	512	87%	84%	584	605	584	606	625
	III 早期再就職件数	155	74%	78%	209	198	209	175	209
苫小牧所	I 就職件数	2,203	97%	82%	2,263	2,674	2,263	2,730	3,029
	II 充足数	2,147	96%	84%	2,227	2,549	2,227	2,518	2,901
	III 早期再就職件数	953	90%	92%	1,053	1,025	1,053	1,060	963
根室所	I 就職件数	911	93%	81%	974	1,112	974	1,132	1,230
	II 充足数	904	97%	88%	924	1,026	924	1,037	1,117
	III 早期再就職件数	238	89%	86%	265	276	265	260	302
札幌東所	I 就職件数	5,134	96%	83%	5,333	6,139	5,333	6,275	6,810
	II 充足数	4,542	96%	80%	4,728	5,611	4,728	5,818	6,288
	III 早期再就職件数	3,530	87%	82%	4,020	4,291	4,020	4,444	4,410
札幌北所	I 就職件数	3,174	91%	77%	3,483	4,093	3,483	4,239	4,557
	II 充足数	3,734	93%	81%	3,990	4,600	3,990	4,724	5,087
	III 早期再就職件数	2,375	82%	78%	2,866	3,026	2,866	3,124	3,089
千歳所	I 就職件数	1,515	96%	83%	1,562	1,804	1,562	1,792	2,057
	II 充足数	1,364	98%	81%	1,383	1,669	1,383	1,685	1,940
	III 早期再就職件数	743	79%	80%	939	922	939	953	875

主要指標 I 就職件数 (常用)
 II 充足数 (常用、受理地ベース)
 III 早期再就職件数 雇用保険受給者の早期再就職件数

ハローワーク札幌 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

○SNSを活用した周知広報の強化

SNSを活用したWebプロモーションの強化（札幌新卒応援ハローワーク、マザーズハローワーク札幌）を図り、ハローワークサービスの積極的なPRを実施した。

○求職者マイページ及び求人者マイページの開設、オンラインでの求人申込の利用促進

相談窓口、電話での対応時の開設の勧奨、HPを活用した周知を実施した。

○オンライン登録者へのハローワーク利用勧奨

オンライン登録時、登録者が可とした連絡方法に郵送が選択されている求職者に対し、オンライン登録からおおむね1週間を目途にハローワークのサービス案内を郵送し、ハローワークの利用勧奨を実施した。

○オンライン職業相談、就職支援チャットサービスの実施など求職者の利便性・アクセス性の向上

オンラインを活用した職業相談やセミナーを実施したほか、全国初となる就職支援チャットサービスによる職業相談をマザーズハローワーク札幌及び札幌わかものハローワークで開始するなど、気軽にハローワークサービスを利用いただけるよう、利便性・アクセス性の向上に取り組んだ。

○求職者担当者制、課題解決支援サービスの実施

各部門において、求職者担当者制による個別支援を積極的に実施したほか、「JOB-チェンジ・サポートコーナー」において、業職種転換を含む早期再就職のための支援を実施した。

○求人充足会議の活性化など充足支援サービスの実施

求人充足会議の参集範囲を拡大し、毎回、相談担当の就職支援ナビゲーター、求人者支援員、人材確保対策コーナーのコーディネーターを参加させることにより、求職者ニーズを基にした求人内容・求人条件の設定・提案の実施、求職者に対する情報提供の強化及び人材不足分野の理解促進を図るなど、充足支援サービスの強化に取り組んだ。

○人材不足分野における就職支援

医療・福祉分野等の人材不足分野の就職件数向上を目指して、11月に医療・介護分野、12月に保育分野の大規模な面接会を実施した。今年度の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮し、参加定員等を縮小して開催したが、11月は参加企業55社、参加者数203名、就職30件、12月は参加企業28社、参加者数71名、就職9件という成果となり、参加したすべての企業より同様の面接会が開催されれば「参加したい」もしくは「参加を検討する」という回答を受けるなど、人材不足分野の求人充足に向けた取り組みを進めた。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

○キャリアコンサルティング資格の取得促進に向けた取組

職業相談部門に配置される職員のキャリアコンサルティング資格の取得促進に向け、北海道労働局主催のキャリアコンサルティング研修及び労働大学校による中央研修の受講について、積極的に職員を送り出した。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

○求職者担当者制の強化

職業相談第1部門（一般相談窓口）において、支援対象者の選定基準・支援期間・記録管理の方法等を定め、求職者専門相談員による求職者担当者制の取組を強化し、支援サービスの充実を図った。

○コロナ離職者を対象としたマネープランセミナーの開催

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて退職せざるを得なかった求職者等を対象に、生活設計の見直しなど職種転換を含め、再就職への視点を幅広く持ってもらうことを目的とした「マネープランセミナー」を定期的で開催した。

○ホームページの充実による各施設の周知

ハローワークプラザ札幌内の職業訓練相談コーナーに係るホームページを新たに開設したほか、マザーズハローワーク札幌、札幌わかものハローワークのホームページについても、令和4年3月にリニューアルを実施した。

○みどりのコーナーにおける専門的支援の周知

みどりのコーナーでは障害をお持ちの求職者に対して専門的な相談を実施しているが、同コーナーの支援について、ハローワークプラザ札幌において新たにリーフレットを作成・配付し周知を図った。

○ユースエール認定企業に対する支援

ユースエール認定企業に特化した企業説明会を実施した（7月20日開催）。

参加企業：2社、参加求職者：18名、説明参加件数：(延べ)35件、求人応募数：26件、内定件数：3件

○人材不足分野における就職支援

本来9月に開催予定であった保育分野の面接会が緊急事態宣言により中止にせざるを得なかったことから、2月に年間計画には含まれていない、保育分野の就職相談会を追加で開催した。午前・午後2部制での開催とし、参加企業は11社、延べ参加者数は32名と多数の参加となった。全ての企業ブースで3名以上の面談が行われるなど、充足支援として効果があった。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○マザーズハローワークにおけるアウトリーチ型支援の展開

子育て中の女性等を支援する自治体やNPO法人が企画・運営する様々なイベントへの参加や巡回職業相談を実施し、アウトリーチ型の支援を図る。

○セミナー及びオンライン相談の申込受付の利便性向上

現在、申し込みについては「窓口」「電話」によるものが多いが、WEBを活用するなど求職者がより申し込みをしやすい環境を実現し、参加者の増加を図る。

○求職者担当者制の取組の充実

職業相談第1部門（一般相談窓口）において、求職者専門相談員・一般相談員による求職者担当者制の実施、支援対象者への支援内容のさらなる充実を図る。

○外国人求職者の支援窓口の一体化

ハローワークプラザ札幌の外国人雇用サービスコーナーと新卒応援ハローワークの留学生コーナーの一体的運営の検討を進め、留学生を含む外国人求職者の総合的な雇用対策を図る。

○求人充足会議のさらなる深化

相談担当と求人担当でそれぞれ支援している求職者・求人の中から会議の中で支援対象を選定し、相談担当と求人担当がチームを作り、選定された求職者の支援を行うとともに、選定された求人の充足支援を実施する。求職者に対しても求人に対しても相談担当と求人担当が一体となり支援を行うこととする。求人担当が求職者を、また相談担当が求人者の支援も同時に行うことによりマッチング技術の向上、事業所情報の一層の収集・提供等を図ることとする。

○人材不足分野における就職支援

コロナ禍において人材不足分野の求人ニーズは高いものの、なかなか応募及び採用に結びつかないという課題があるため、継続して面接会や相談会等のマッチングイベント開催を通じて企業の人材確保に努めるほか、求職者に対する同分野の求人情報提供を積極的に行っていく。

(4) その他業務運営についての分析等

○就職件数の向上のための取組

令和4年3月末現在の就職件数は、6,104件と前年同期の6,153件を49件下回り、前々年同期の7,793件と比べると1,689件減少している。

新規求職者数、月間有効求職者数、新規求人数、月間有効求人数のいずれも前年同期を上回って推移（新規求職2.2%、有効求職10.1%、新規求人13.9%、有効求人13.9%増）しているが、前々年同期と比べると月間有効求職者数は新型コロナウイルスの影響による求職活動の長期化や雇用保険の延長給付の影響等により14.1%増加している。一方、新規求職者数、新規求人数、月間有効求人数は減少（新規求職7.9%、新規求人7.8%、有効求人10.2%）している。

紹介件数は33,288件と前年同期の37,096件に比べ10.3%減少、前々年同期の45,154件と比べると26.3%の減少となっているが、これは新型コロナウイルスの影響により離職者が増加した卸小売、宿泊・飲食の求人が依然として大きく減少していること、また、医療・福祉（介護、看護、保育）といった人材不足分野における求人が高止まっている等、求人と求職のミスマッチが生じていることが要因と思われる。

このように紹介件数は減少しており、就職件数についても前年同期比で0.8%減少しているが、充足件数については1.0P増加、紹介成功率についても1.7P増加しており、「JOB-チェンジ・サポートコーナー」における個別支援のほか、求職者担当者制による質の高い支援に積極的に取り組んできた成果であると考えている。

引き続き、これらの取組を継続・発展させるとともに、活性化を図っている求人充足会議における職業相談担当と求人担当の連携を一層密にし、求人者支援員を中心としたチームによる求人開拓の積極的な実施により、求職者ニーズに応じた新規求人を確保し、紹介件数、就職件数の増加を図っていく。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	②障害者の 就職件数	③就職支援ナビゲ ーターの支援によ る正社員就職件数	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員就職に結び ついた就職氷河期 世代の不安定就労 者・無業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数
令和3年度実績	6,104 件	7,550 件	2,768 件	89.3%	705 件	2,238 件	644 件	30,136 件	2,798 件
過去3年度平均	7,572 件	8,944 件	3,205 件	109.0%	731 件	2,188 件	567 件	30,665 件	3,512 件
R2年度実績	6,153 件	7,476 件	3,045 件	100.4%	732 件	1,949 件	567 件	27,179 件	2,680 件
対 R2 比	99%	100%	90%	88%	96%	114%	113%	110%	104%
R1年度実績	7,793 件	9,165 件	3,298 件	110.1%	734 件	2,291 件	—	32,160 件	3,670 件
対 R1 比	78%	82%	83%	81%	96%	97%	—	93%	76%
H30 年度実績	8,770 件	10,190 件	3,273 件	116.5%	726 件	2,323 件	—	32,657 件	4,186 件
対 H30 比	69%	74%	79%	76%	97%	96%	—	92%	66%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク函館 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

新型コロナウイルス感染症の長期化により、就職活動や採用活動にもオンライン化という変化が見られる中、ハローワークシステム刷新（追加リリース第2弾）によりオンライン登録やオンライン応募が可能となったことから、アフターコロナを見据えた対策として、上記刷新に係る周知活動を重点的に取り組みました。

求人者に対しては、対面を伴わないオンラインによる求人受理が双方のメリットにもなることから、求人者マイページの開設を推進し、中でも行政機関に対しては、訪問等により刷新のメリットを伝え、強く利用を促した結果、行政機関による求人のオンライン受理割合は第2四半期までは4.0%だったものが、第3四半期は51.8%、第4四半期は59.8%と一定の効果が見られました。

また、一般企業に対しては、求人窓口において幅広に周知する一方で、行政機関に対する周知と同様にターゲットを絞った周知（管内商工会議所・商工会に対する傘下会員に対する周知、大卒求人提出開始時期に合わせた提出実績のある事業所への周知など）を平行して実施しました。今後も多くの管内求人者に行き渡るよう取り組んでいきます。

求職者については、現にハローワークを利用いただいている求職者の方に求職者マイページを使ったメリットを実感してもらうため、相談窓口における作成勧奨や作成支援を実施した結果、年度当初全体の3.1%だった利用状況が年度末では11.7%までアップしており、引き続き利用促進に努めていきます。

今後は、現在ハローワークを利用していない層に向けての発信の強化を図るとともに、ハローワークの強みである対面サービス（特に個別支援）を強化し、持続的に相談窓口の活性化を図ることができるよう取り組んでいきます。

また、遠隔地を理由にハローワークから足が遠のく求職者も存在することから、管内市町村では唯一「求人・求職情報提供サービス」の利用団体となっている鹿部町が実施している無料職業紹介事業と連携し、毎月第2・4火曜日、14:00～16:00と日時を設定したうえでオンライン職業相談を実施することとしました。今後は、その利用状況を勘案した上で、他市町村に拡大を検討していきます。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

①地方公共団体と連携したオンライン相談

前年度来の新型コロナウイルス感染症の影響により、社会全体のオンライン化が進む中、当所でもオンラインでできることを拡張すべくオンライン職業相談の積極的活用を検討し、その活用に際して、管内市町村で唯一「求人・求職情報提供サービス」を実施しており、無料職業紹介事業についても積極的な「鹿部町」と連携することにより、鹿部町の求職者に対するオンライン職業相談の実施並びにハローワーク窓口利用の勧奨を行うこととしました。(再掲)

②人材不足分野に係るマッチングの向上に向けた取り組み

人材確保対策コーナーにおいて実施している「介護就職デイ（介護人材合同面接会）」及び「ミニ求人説明会」については、一定の参加人数を維持できるようになりましたが、さらなる人材確保のため、希望求職者の増加を目的として、福祉担当ナビゲーターによる「介護のお仕事きっかけセミナー」を新たに実施しました。

③マザーズコーナーにおける独自セミナーの実施

従前から開催していた外部講師によるセミナーに加え、支援対象者の就職率の向上並びにセミナーメニューの充実を目的として、今年度から就職支援ナビゲーターを講師とした独自セミナーを新たに実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 地方自治体との連携によるオンライン職業相談の拡充

今年度、鹿部町と連携して開始することとなったオンライン職業相談については、実績こそないものの、今まで距離の問題で足が遠のいていた、また運ばなかった求職者にハローワークを知ってもらうチャンスでもあることから、無料職業紹介事業の届出を既に提出している自治体に対し、求人・求職情報提供サービスと併せて提案し、拡充を検討していきます。

② 各種イベントの周知について

人材確保対策コーナーにおいて実施している「介護就職デイ（介護人材合同面接会）」並びにマザーズコーナーで実施している「マザーズセミナー」の周知について、これまでハローワークを利用していなかった方々に参加を促すこと、また、コーナーを知ってもらうことを目的として、YouTube のバンパー広告を利用するなど、庁外周知についての広報を工夫していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ コロナ禍における求人数の減少や、各種セミナー・説明会等の中止による求職活動の鈍化、失業の長期化の傾向があることから、よりきめ細かな支援を行うため、担当者制による支援を強化するとともに、求職者のニーズを踏まえた求人開拓・個別求人開拓を実施していく必要があると考えています。また、新たに設置した就職氷河期世代サポートコーナーについても、上記同様の傾向が見てとれることから、支援対象者に対する安定した雇用の実現等に向けた一貫したチーム支援を図っていくこととします。
- ・ 今年度、新たに配置された長期療養者支援に係る就職支援ナビゲーターによる巡回相談の実施については、2 拠点病院と協定書締結を行い、相談を開始しました。コロナ禍の影響により巡回相談が中止となるケースもありましたが、市立函館病院で5回（相談人数2名）、函館五稜郭病院で8回（相談人数6名）の相談を実施しました。相談の中では、これまであきらめかけていた「治療と仕事の両立」に対し希望を持つことができた、前向きな気持ちになれたというお言葉があり、今後もよりきめ細やかな相談支援を図っていくこととします。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの 職業紹介により、正社員に結びついた就職 氷河期世代の 不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	就職支援ナビゲーターの支援による正社員就職件数	公的職業訓練 修了3か月後の就職件数	マザーズハローワーク事業 における担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率	人材不足分野 の就職件数
令和3年度実績	4,375	4,167	1,592	72.5%	713	11,540	1,804	462	398	98%	1,405
過去3年度平均	5,126	4,833	1,995	90.0%	586	12,848	2,244	476	483	97%	1,613
R2年度実績	4,385	4,193	1,835	79.6%	586	10,939	1,830	459	430	98%	1,422
対 R2 比	99%	99%	86%	91%	121%	105%	98%	100%	92%	99%	98%
R1年度実績	5,369	4,948	2,106	90.3%	-	12,870	2,369	479	488	95%	1,653
対 R1 比	81%	84%	75%	80%	-	89%	76%	96%	81%	102%	84%
H30 年度実績	5,623	5,358	2,044	98.6%	-	14,734	2,533	489	530	97%	1,763
対 H30 比	77%	77%	77%	73%	-	78%	71%	94%	75%	100%	79%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク旭川 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

新型コロナウイルス感染症拡大による2度の緊急事態宣言発令及びまん延防止等重点措置対象区域指定があった令和3年度においては、各種イベントの対面開催や情報収集等のための事業所訪問が困難でありました。また、感染を避けるために求人への応募に慎重となる求職者が目立った状況において、当所は来所していただいた方のニーズを的確に把握し、求職者担当者制の実施を強化しました。具体的には、令和2年度はスタッフ1人当たり毎月2人以上の求職者に対して担当者制による個別支援を開始することとしておりましたが、令和3年度はスタッフ1人当たり常時5人の求職者に対する担当者制による個別支援を実施することとしました。その結果、2年度の支援開始者数（合計）が303人に対して、3年度の支援開始者数（合計）は689人と前年度比127.4%（386人）の増加となり、前年度をはるかに超える人数の求職者に対して担当者制による個別支援を実施しました。また、求職者担当者制による就職者数（合計）も2年度の212人に対して、3年度が478人と前年度比125.5%（266人）の増加となりました。

さらに、従来の「求人充足会議」を発展させ、「求職者支援会議」と「情報共有会議」の機能も兼ね備えた『マッチング戦略会議』を立ち上げ、事業所部門と職業相談部門の連携強化と両部門スタッフのスキル向上による、求人者と求職者へのサービスの充実と質の高い支援の実施に努めました。

- ・「求人充足会議」：主に人材不足分野の求人について、求職者目線による内容分析（条件緩和を含めた改善の有無）や紹介手法（ダイレクトメール等の計画紹介、ミニ企業説明会（面接会）の実施等）の検討を目的とする会議
- ・「求職者支援会議」：求職者担当者制で支援する求職者情報を共有し、支援プランの検討（支援方法のアドバイス等）や事業所部門による応募可能求人獲得等の支援強化を図ることを目的とする会議
- ・「情報共有会議」：求人票以上の事業所情報や求職者からの苦言や感謝等の生の声を共有し、マッチング精度の向上や業務改善を図ることを目的とする会議

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

○『マッチング戦略会議』における「求人充足会議」の効果検証を行った結果、対象求人の選定について、事業所部門による人材不足分野からを中心とする選定を、会議参加者が人材不足分野の求人以外からも幅広く選定することとしたことで、会議の参加に対する意識の向上に繋がり、人材不足分野の求人については、人材確保対策担当のコーディネーター（事業所部門）とナビゲーター（職業相談部門）による「人確部会」を随時開催することでスピーディーな情報共有を行えるようにしました。

○ハローワーク旭川のサテライト施設「まちなかしごとプラザ」では、郵送機能を有していないことから、求人情報等のダイレクトメールを行うためにハローワーク旭川本所との連携方法を整理しました。それにより、「まちなかしごとプラザ」利用者へのサービス向上と当該施設の利用勧奨及び窓口スタッフのマッチングスキルの向上に努めました。

○窓口利用が減少している若年求職者（35歳未満）に対しては、1日5人を目安に求職者マイページを通じた求人情報の提供を強化しました。

○利用者に対する情報発信としては、就職支援サービスメニューやイベント開催状況等を「所内サイネージシステム」に放映し、待ち時間等を利用した効果的な情報発信に努めました。

(3) 今後のサービス改善・業務改善の取組について

○「事業所部門スタッフ」と「職業相談部門スタッフ」を組み合わせた小チーム編成による日常的な充足支援のための打合せを実施し、更なるサービスの充実と質の高い支援の提供に努めます。（チームの構成は、定期的に入替）

○ハローワークシステム刷新により強化された機能（直接リクエスト）を効果的に運用するため、高度な知識が必要とされる専門分野の職種を希望する求職者に対して積極的な求職公開を勧奨し、求人者からのリクエストを促進することで求人と求職の結合の可能性向上に努めます。（まずはIT分野から開始）

○JOBチェンジサポートコーナーにおける成功事例の収集とスタッフへのフィードバックに努めます。

○求人者と求職者に対するサービスの充実と質の高い支援の実施のため、今後においても、求職者担当者制の実施とマッチング戦略会議の運営により事業所部門と職業相談部門の連携強化とスタッフのスキル向上を図り、新型コロナの感染状況に留意しながら事業所訪問を実施することで求人票以上の情報収集と事業所との更なる信頼構築が重要と考えます。

(4) その他業務運営についての分析等

○職業相談窓口において求職者マイページの開設勧奨の強化を図るとともに、マイページを開設し、定期的にログインしていると思われる

求職者に対しては、能動的マッチングによる求人情報の提供を行いました。

○求人者マイページの開設について、窓口での求人受理時のほか、電話や FAX での申込時等あらゆる機会に、独自リーフレットを活用してメリット等を説明し新規開設と利用促進に努めました。

○令和3年5月の大型店舗閉店に伴う多数離職者対策として、旭川市、上川総合振興局、産業雇用安定センター等の関係機関と連携した総合相談会及び旭川市役所庁舎内での定期的な出張相談（6月～9月）を実施しました。その後も旭川市とは、雇用情勢に係る情報交換や雇用対策に係る検討等のための継続的かつ定期的な打合せを実施することとしました。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の就職件数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の就 職件数
令和3年度実績	3,176	3,118	1,404	62.0%	298	323	14,649	1,460	1,081
過去3年度平均	3,948	3,874	1,826	78.0%	344	464	14,397	1,889	1,348
R2年度実績	3,320	3,299	1,733	70.7%	264	464	13,888	1,563	1,180
対 R2 比	95%	94%	81%	87%	112%	69%	105%	93%	91%
R1年度実績	4,128	4,052	1,880	78.4%	389	-	14,358	1,928	1,377
対 R1 比	76%	76%	74%	79%	76%	-	102%	75%	78%
H30 年度実績	4,397	4,272	1,865	84.7%	380	-	14,946	2,176	1,488
対 H30 比	72%	72%	75%	73%	78%	-	98%	67%	72%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク帯広 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

○求職者担当制を中心とした求職者ニーズに応じた支援の実施

・職員、就職支援ナビゲーターによる、求職者担当制を実施することにより、個々の求職者に合った支援を考えてニーズに応じた支援メニューの提供を実施しました。具体的には電話・求職者マイページ等による求人提供、履歴書・職務経歴書の作成支援、面接トレーニング等の応募から採用に至るまでの求職者のサポートを積極的に行いました。

○相談窓口における積極的なマッチングの実施

・雇用保険受給者には、認定相談において希望条件等再確認の上、条件等を踏まえた求人提供、即時紹介に繋がるような能動的なマッチングを実施。一般求職者においても、相談時、正社員求人を中心とした求人の提供、及び、介護福祉関連・季節労働者等に向けた求人一覧表を活用し、正社員求人紹介・就職に向けた相談を積極的に行いました。

○障害者窓口（みどりの窓口）における綿密な職業相談の実施

・職場定着支援、職場見学、チーム支援などの対外的な動きが制限されるなか、来所して窓口相談を希望する求職者に対して障害特性や受容の度合い、希望条件のみならずその背景も丁寧に聴き取りながら綿密な職業相談を実施しました。その他には応募書類の重要性を理解していない求職者が多いことから積極的に声かけをして応募書類の添削を実施し、加えて自身の障害特性や配慮事項についてワークシートにまとめて客観的に説明できる準備を促しました。特に何度も不採用になる方については面接の振り返りを寄り添いながら実施しました。これらの取組みの結果、就職者を増加させることができました。

○マザーズコーナーによる積極的な支援の実施

・マザーズコーナーによる支援強化として、マザーズ求人情報を毎週火・木曜日に発行、また、子育てに配慮のある求人冊子の作成、公開求人の中から求人者に対しマザーズコーナー利用者目線で仕事内容や条件緩和等の確認を行った求人を「マザーズコーナーピックアップ求人」としてマザーズコーナー利用者に積極的に情報提供するなど、マザーズコーナーのサービス向上に取り組みました。

○人材確保対策コーナーによる人材不足分野に対するマッチングの促進

・人材不足分野の事業所に対するマッチングの促進として「企業PRシート」を作成し、所内掲示及びホームページにて公開しました。

また、企業説明会を積極的に開催し、特定職種の企業を集めた「ミニ看護・介護デイ」等を開催して、事業所の周知・宣伝の機会の確保に取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

○職員、相談員に対し「求職者支援スキルアップ研修」として相談技法に関する研修を実施、各項目として「職業相談研修」を6回、「職業興味検査研修」・「職業レディネステスト」を3回、「キャリアインサイト研修」を2回、「求人者支援研修」、「職業相談事例研修」を各1回実施し、職員・相談員の専門性向上を図りました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

○事業所に対して障がい者の雇用動向、職場実習及び企業見学の可否等に関するアンケートを実施し、同意の上で関係機関と当該情報を共有し、連携した就職支援に活用しました。

○令和4年度緊急再就職訓練（長期高度人材育成コース）説明会の動画を当所のホームページからリンク先にアクセスして視聴できるようにしました。

○当所のホームページからハローワークインターネットサービスでの求人検索を容易にするために改善を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○来所またはオンラインで情報収集している求職者への情報提供の多様化を検討し、SNS利用等情報発信力の強化に努めます。

○「ミニ企業説明会」をハローワークプラザにて開催することで、利便性の向上等により支援推進とマッチング向上に努めます。

○個別支援に関する事例検討を定期的に行い、職員・相談員の専門性の向上と提供する個別支援サービスの質の向上を図ります。

(4) その他業務運営についての分析等

○求人倍率は令和3年5月に15ヶ月ぶりに前年同月を上回りましたが、6月以降令和4年1月まで前年同月を上回ることができませんでした。令和3年度の平均としては1.21倍となり、令和2年度の1.24倍を下回りましたが、就職件数は対前年比1.7%増と小幅ながらも前年を上回りました。これは、求職者担当制等の個別支援充実によることが大きいと考えます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の 就職件数	就職支援ナビゲ ーターの支援による 正社員就職件数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期の不安 定就労者・無業者 の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	2,827	2,836	1,208	63.6%	305	231	374	12,698	1,218
過去3年度平均	3,234	3,279	1,443	71.0%	315	220	377	11,689	1,342
R2年度実績	2,781	2,850	1,344	68.8%	267	182	377	11,683	1,193
対 R2 比	101%	99%	89%	92%	114%	126%	99%	108%	102%
R1年度実績	3,276	3,290	1,573	70.9%	324	227	-	11,797	1,321
対 R1 比	86%	86%	76%	89%	94%	101%	-	107%	92%
H30 年度実績	3,646	3,697	1,411	72.7%	355	252	-	11,587	1,511
対 H30 比	77%	76%	85%	87%	85%	91%	-	109%	80%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク北見 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

- ・ 昨年度に引き続き、職業相談部門においては、双方向性の求職者担当制の実施、マッチング求人による来所勧奨、求人検索機利用者への窓口誘導や利用勧奨、応募書類の添削指導や応募書類の下書き作成の案内等の取組を、事業所部門においては、求人充足会議の充実、求人条件の緩和指導により条件変更となったリフレッシュ求人や急募求人等について、求人票に各種アピール表示を付すなどとして、掲示ボードに掲載するなどの取組を実施しました。
- ・ 今までハローワークを利用したことがない（何年も利用していないを含む）層の利用促進のため、市役所内にジョブサポートきたみ及び本所に設置されているマザーズコーナーのチラシを配架するとともに、北見市役所の協力の下、市役所にて生活保護受給中の方へ郵便物を送る際ジョブサポートきたみのチラシを同封。マザーズコーナーのチラシは市内にある子育て中の女性が利用しやすい図書館やプールなどにも配架しました。また、ジョブサポートきたみの目の前に子供が遊べる大きな遊戯場があり、そこを利用する保護者にジョブサポートきたみのチラシを配布し、遊戯場内にハローワーク職員が入り簡単な相談ができる旨周知を実施しました。
- ・ 求人者マイページ、求職者マイページについて、マイページのメリット及び開設方法を簡潔にわかりやすく説明した、北見所独自リーフレットを作成し、ホームページに掲載、求人・求職窓口等で周知を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 求人充足会議を昨年度から「高齢」「早期」「生保」「マザーズ」の4類型に分ける方法で実施しており、各分野に応じた求職者の状況、窓口での相談内容を事業所部門と共有し、職業相談担当者と求人者支援員の日々の連携や求人充足会議を通じて、求職者の声を求人事業主に伝えることにより求人条件の緩和指導等を実施しました。また、下半期からは、更なる求人充足サービスの充実を図るため、職業相談部門で把握している原因（求職者の反応や生の声等）を事業所部門と共有し、求人者支援員が求人者にフィードバックするなど、結果（充足）にこだわった取り組みを実施しています。
- ・ 求人者支援員による求人充足会議後の条件緩和指導に職相ナビを同行させ、求人事業主の採用イメージや生の声等を直接聴取し、その後の求職者への情報提供等に活用する取り組みを行いました。この取り組みは両部門の相互理解を促進し、更なる連携強化に効果的であり、職員による実施も計画しています。

- ・ オンライン職業相談についてはホームページや来所者端末のお知らせにより周知を図っていますが、電話による職業相談や紹介状の郵送による発行のニーズの方が高い状況にあり実施数が低調な状況です。利用促進の取組として、自宅で子育てをしながら職業相談や情報収集をすることができることを実感してもらうため、マザーズを対象としたオンラインセミナーを実施したところ、一部の参加者をオンライン職業相談につなげることができました。また、当所の精神トータルサポーターが個別事業所に対し、オンラインでの精神・発達障害者仕事サポーター養成講座を実施し、好評をいただいています。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・ 求人者支援員による求人充足会議後の条件緩和指導に職員・職相ナビを同行させ、求人事業主の採用イメージや生の声等を直接聴取し、その後の求職者への情報提供等に活用する取り組みを実施していきます。
- ・ マザーズオンラインセミナー参加を契機とし、オンライン職業相談に繋がられるよう、自宅で子育てをしながら職業相談や情報収集をすることができることを実感してもらえそうな周知を行っていきます。
- ・ 65歳以上の求職者が徐々に増加してきていることから、仕事内容欄は就労している姿を想像しやすい内容を記載するなど65歳以上の求職者に情報提供できる求人の確保に努めていきます。また「就職氷河期世代（35歳～54歳）の正社員への就職件数」については、「学歴・経験・免許資格不問」の求人のほかに、求人受理時に求人充足会議時に職業相談部門から得ている現在の求職者状況を事業主に説明するなど応募しやすい求人の確保に努め、職業相談窓口では積極的な求人の提供を行っていきます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・ 「障害者の就職件数」については、障害者個々の状況に応じたきめ細かな職業相談や職業紹介、関係機関との連携によるチーム支援を引き続き実施します。
- ・ 「マザーズハローワーク事業」については、求職者ニーズを踏えた担当者制による就職支援として、マザーズ担当者による個別求人開拓、マザーズコーナー求人情報の作成、各種セミナーの開催等の取り組みを引き続き実施します。
- ・ 「氷河期世代の就職」については、求職者ニーズを踏えた担当者制による就職支援として、就職氷河期世代職場実習制度を利用するなどきめ細かな職業相談や職業紹介を実施します。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	⑧正社員求人数 (必須指標)	⑨正社員就職件数 (必須指標)	②障害者の就職件 数
令和3年度実績	2,023	1,956	629	80.0%	289	5,799	838	195
過去3年度平均	2,264	2,118	715	86.0%	164	5,564	950	179
R2年度実績	2,153	2,035	669	85.3%	164	5,518	881	191
対R2比	93%	96%	94%	93%	176%	105%	95%	102%
R1年度実績	2,235	2,103	721	87.6%	-	5,624	944	189
対R1比	90%	93%	87%	91%	-	103%	88%	103%
H30年度実績	2,404	2,217	754	83.7%	-	5,549	1,026	158
対H30比	84%	88%	83%	95%	-	104%	81%	123%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク紋別 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「就職件数」、「充足数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」等の指標の向上を目指すことを最も重要な取組として、専任スタッフによる求職者担当者制を実施し、求職者に適した求人情報の積極的な提供、応募書類の添削指導、面接指導を実施しました。

新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用、飛沫防止パネルの設置、事務室の定期的な換気・消毒等を行ったうえで窓口業務を実施し、来所を希望しない求職者については、電話による相談・紹介を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

システム刷新追加リリース第2弾に合わせて、求人者・求職者マイページの周知を強化するために、職業相談部門職員・相談員に求人者・求職者マイページの開設方法や機能についての研修を行い、情報共有・理解を深めることで求人者・求職者マイページの普及に努めました。

ハローワークの利用促進のため、ハローワーク紋別のホームページに「ハローワーク紋別の求人情報」、「ハローワーク紋別のご利用案内」を新規掲載しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人充足会議の取り組みについて、新型コロナウイルス感染防止のため開催数が少なくなっていました。令和4年度からは、感染防止に留意しながら毎週1回開催することとし、職業相談担当と求人担当との情報共有を図り、条件緩和等の意見交換・求人者への求人条件緩和指導などを行っていきます。

また、会議の内容が参加者だけのものにならないよう、全ての職員に回覧し情報共有とさらなる意見集約を実施していきます。

（4）その他業務運営についての分析等

令和3年度の求人数は、新型コロナウイルスの影響が小さくなっており、小売業の求人数は大きく減少したものの、その他ほとんどの業種で求人数が増加しました。その一方、令和3年度の求職者数は、微減ではありましたが減少傾向が続いています。

そのような中で、求職者担当者制は、業務改善の取組みとして重要であることから引き続き実施することとし、更なる業務改善及びマッチング業務の質の向上を図るために、充足会議を定期的実施します。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	424	393	110	71.0%	45	1468	167
過去3年度平均	504	449	128	78.0%	29	1370	205
R2年度実績	449	417	114	71.6%	29	1241	186
対 R2 比	94%	94%	96%	99%	155%	118%	89%
R1年度実績	526	464	126	84.8%	-	1442	197
対 R1 比	80%	84%	87%	83%	-	101%	84%
H30 年度実績	538	467	144	78.5%	-	1428	232
対 H30 比	78%	84%	76%	90%	-	102%	71%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク小樽 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、今年度において「就職件数」、「充足数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」を重点事項として下記のとおり取組を進めました。

① 求職者担当者制による課題解決サービスの実施

担当者制による職業相談を継続することで、求職者個人の事情等をより深く把握することができ、また関係機関との連携を図りながら、予約制による相談、履歴書・職務経歴書の作成支援、面接トレーニング等の問題解決に向けた支援サービスを提供するなどの再就職支援を実施しました。

② 求人充足サービスの実施

求人充足会議を開催し、求人充足に向けた支援等の進捗状況の確認やフォローアップ等を行うとともに、求人者担当制により求人者の早期充足を図りました。

また、会社説明会の開催や庁舎内に特に人材不足関連事業所を中心とした会社の自己PR情報や職場風景（画像情報）を掲示する「会社PRコーナー」を求職者スペースに設置するなど、求人充足の取組を進めました。

③ 雇用保険受給者の早期再就職への取組

雇用保険受給者に対して、資格決定時に早期再就職に向けての活動（早期再就職のメリットや求職期間長期化のリスク等）について、窓口にて資料を配付し個別に説明を行ったほか、認定日に来所された際に全員相談を実施し、初回認定日より早期再就職への意識を高めていただき、求人情報提供や応募勧奨を積極的に実施することで就職促進に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人者、求職者マイページの利用促進に向けて取組を進めました。具体的には、求人者マイページについては、窓口、HP、書面送付、電話、DM等の手段による周知を実施した結果、令和4年3月末でのオンライン利用率は、31.1%となりました。求職者マイページについては、窓口にて新規求職受理時（再求職含む）及び認定日相談時に、所独自リーフレットを配布しマイページ利用についての周知を実施した結果、令和4年3月末でのオンライン利用率は、14.6%となりました。いずれのマイページも全道平均を上回る利用率となりました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・求人者・求職者マイページのさらなる利用促進を図るとともに、オンラインを活用した支援サービスの取組を進めていきます。オンライン職業相談についても、今後の利用者の増加に向けて、Web（HP、Youtube、SNS等）を活用した広報の強化など、周知方法の見直しについて進めていきます。
- ・来所（利用）者に対するサービスを充実させ、より質の高い支援を展開できるよう、求職者担当者制による課題解決支援サービス及び求人充足支援サービスの強化に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が繰り返し適用されるなど、感染拡大と縮小が繰り返され、感染状況により社会経済活動もその都度変化し、雇用に対する影響も大きいものとなりました。

このような中で当所における令和3年度の有効求人倍率は1.12倍となり前年度よりも0.07ポイント増加しておりますが、コロナ前の令和元年度の1.40倍の水準には至っておりません。

引き続き、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する状況が続いていますが、感染防止対策を徹底したうえで、求職者ニーズを反映させた求人の確保に向け、充足の可能性も意識しながら、求人者に対してきめ細かな充足サービスを行い、また、求職者に対してはコロナ禍での労働市場の動向を踏まえ、丁寧な職業相談を実施し、本人のニーズや態様にあわせた支援サービスの提供を行い、各種サービスの充実、質の高い支援を推進して参ります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件数 (必須指標)	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和3年度実績	1,503	1,481	512	81.6%	96	4,170	583	59
過去3年度平均	1,883	1,796	625	87.0%	111	4,679	761	59
R2年度実績	1,495	1,430	553	82.1%	111	4,188	581	59
対 R2 比	100%	103%	92%	99%	86%	99%	100%	100%
R1年度実績	1,959	1,849	631	86.4%		4,824	795	
対 R1 比	76%	80%	81%	94%		86%	73%	
H30 年度実績	2,196	2,108	692	91.4%		5,026	908	
対 H30 比	68%	70%	73%	89%		82%	64%	

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク滝川 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

基本業務の徹底として

- ・ 求職票表面の完全記入及び職業相談コメントの的確な記録の徹底を図りました。
- ・ 各種支援メニューに係る周知を積極的に実施しました。
- ・ 求人票記載内容の正確性と明確性を確保し、必要により求人条件緩和及び法令遵守の指導を実施しました。また、求人票記載内容以上の事業所情報の収集と提供にも取り組みました。

求職者担当制の取組として

- ・ 主に就職支援ナビゲーターにより実施しました。実施に当たっては、各自に目標数を設定し、積極的に対象者の選定を行いました。管理者による進捗管理を行い必要な助言・アドバイスを都度実施しました。
- ・ 氷河期世代の不安定就労者・無業者の就職支援の強化を行うため、一人ひとりの課題にきめ細かな対応をしました。
- ・ 求職者担当者制を利用するすべての求職者に、オンライン相談の提案を行いました。

求人者担当制の取組として

- ・ 求人と求職のマッチングを効果的に実施するため、特定の求人に対し「充足状況の確認」「充足状況に合わせた継続的な情報提供と条件緩和指導」等きめ細かな支援を実施しました。
- ・ 求人充足会議で支援対象とした事業所についても、必要に応じ求人者担当者制として支援を行いました。求人充足会議の内容を参考に、求職者の登録状況や動向について情報提供を行い、求人票の記載内容や条件緩和などの提案を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ 職員、相談員の資質を向上させ、求職者に対し質の高いサービスを提供できるよう所独自の研修を実施し、業務の改善を図りました。具体的には、9月に「職業相談技法に関する勉強会」、10月に「雇用保険に関する勉強会」、12月に「課・部門をまたぐ職員研修。（具

体的には、職業相談部門に配置している職員を、一定期間雇用保険課に配置)」、2月に「ZOOM を活用したオンライン職業相談の積極的な実施に向けた研修会」を実施しました。

- ・高齢者の求職者の割合が増加傾向にあるため、令和3年12月から高齢者の応募を歓迎する「高齢者応募可能求人情報」一覧を定期発行することとしました。
- ・管内にある職業訓練施設と連携し、受講生とオンライン相談ができるよう体制を構築しました。
(北海道障害者職業能力開発校と連携し、令和4年2月から実施)
- ・受付横にデジタルサイネージを配置。「イベント情報」や「求職者や求人者へのお知らせ」を映写し、利用者に必要な情報を積極的に周知しました。
- ・ホームページに掲載されている内容を見直し、イベント情報や週刊求人情報一覧のアップロードを開始しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・(1)、(2) で実施した「特に重点的に取り組んだ事項」及び「サービス改善・業務改善を図った事項」の更なる定着のためには、ハローワークスタッフの、求人・求職のマッチング能力、キャリアコンサルティング能力などの個々人の資質の向上が重要となりますので、スキルアップの向上のため所内研修の実施を進めます。
- ・オンラインサービスを強化するため、「求人者・求職者マイページ」の利用を積極的に周知しオンラインを活用した支援サービスの向上を進めます。また、ホームページの掲載内容をさらに刷新し、窓口における支援サービスを広く周知することでオンラインサービス利用から窓口支援サービス利用へのスムーズな移行を促すなど、ハローワークとしての総合的な支援サービス強化に努めます。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、地域の雇用情勢は予断を許さない状況が続いていますが、求職者支援については、オンライン相談や電話相談の実施、窓口で直接相談する求職者には従来から実施している個別支援の強化、事業所支援については、事業所訪問による求人開拓を積極的に実施します。

- ・オンライン相談、電話相談については、メリット・デメリットを勘案し特性を見極めた上、積極的に取り組むこととします。オンライン相談、電話相談の周知は、現在ハローワークを利用していない潜在的な求職者へのアプローチや職業訓練受講生を対象とした就職支援としても効果的と考えており、関係機関と連携のうえ実施及び拡充に努めます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・現在行っている求職者支援メニューを中心に、次年度もレベルを低下させないよう、進捗状況の管理、分析を行いながら、求人確保について積極的に取り組みます。
- ・新規求職者数は新型コロナウイルスがまん延する以前の雇用情勢に比べ、減少傾向が続いていますが、今年度の有効求職者は増加傾向にあり、コロナ禍による失業期間の長期化が憂慮されるところです。自治体や関係機関からも、情報収集を行い、必要な支援を展開したいと考えています。
- ・今年度、当所の職員において1名「キャリアコンサルティング2級技能士」を輩出しました。今後も、相談技法向上のためキャリアコンサルティング資格取得者の輩出に努めます。
- ・オンライン相談については、利用低調な状況によりHWスタッフの端末操作等技術的なノウハウが十分に蓄積されず、結果として求職者への案内も消極的になってしまう悪循環が生じていました。この反省から、前年度に実施したものより実技面にフォーカスした研修を2月に行い、再度ノウハウの共有を図りました。結果として窓口での周知が従前より積極的に行われるようになり、オンライン相談件数も着実に増加し、効果的な就職支援の一助となっております。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	生活保護受給者等 の就職率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	
令和3年度実績	1402	1238	340	75.0%	70.0%	140	4304	569	
過去3年度平均	1696	1489	466	81.0%	77.0%	150	4152	715	
R2年度実績	1431	1269	441	73.4%	68.1%	150	3958	598	
対 R2 比	97%	97%	77%	102%	102%	93%	108%	95%	
R1年度実績	1787	1578	506	86.1%	81.0%		4183	760	
対 R1 比	78%	78%	67%	87%	86%		102%	74%	
H30 年度実績	1870	1620	452	84.2%	81.7%		4314	787	
対 H30 比	74%	76%	75%	89%	85%		99%	72%	

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク釧路 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

○日本製紙株式会社釧路工場の紙・パルプ事業撤退に伴う大量離職者対策

令和3年9月末で株式会社日本製紙が紙・パルプ事業から撤退することとなり、転籍等に応じられず離職する従業員が関連会社を含め多数見込まれることから、釧路総合振興局、釧路市、釧路商工会議所等と連携し、釧路地域大量離職者等雇用対策本部を立ち上げ、再就職支援を行うアシストハローワークの実施、特別求人開拓による求人の確保、総合相談会や企業面接会を開催するなど、早期再就職の支援に努めました。

○雇用保険受給者の早期再就職の取り組み

雇用保険受給資格決定及び初回講習時におけるアンケートにより求職者ニーズを把握し、職業相談の際にリーフレットを活用して労働市場の状況やハローワークのサービス内容、再就職手当の具体的な金額の説明を行うなど早期の再就職に向けた支援を行いました。

また、求職者担当者制の拡大・強化を図り、窓口スタッフ全員による再就職支援を行いました。

○ホームページ等を活用したハローワークの情報発信による利用者の掘り起こしへの取組

当所のHPを開設し、次の内容の情報を掲載しました。

- ・日刊求人情報の掲載、・ハローワークプラザ釧路の案内、・マザーズハローワーク支援事業等のお知らせ、・Uターン就職を希望する新卒者へのオンライン相談の案内、・ハローワークセミナーの開催案内、・企業説明会の周知、・公共訓練の募集予定の案内。

また、ハローワークシステムの刷新に合わせ、求人者・求職者マイページの登録について掲載し、利用案内を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

○求職者への的確な情報提供

求職者からの質問が多い項目について職種ごとに整理して、「職種別求人作成チェックリスト」を作成し、求人受理時に活用しまし

た。

また、「土日休日の介護職求人一覧表」や「正社員以外の官公庁求人一覧」など求職者のニーズに合わせた情報を提供しました。

○オンライン相談の実施

管内の高校卒業予定者とのオンライン相談・面接トレーニング、他地域に進学した学生のUターン就職希望者とのオンライン相談について周知しました。

また、ポリテクセンター釧路の訓練受講者とのオンライン職業相談を新たに開始しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

○専門性、質の向上への取組

窓口スタッフ全員が求職者に対し質の高いサービスを同じ水準で提供するには、専門性の向上への取組が必要なことから、所内での事例検討会や所独自の研修の実施について検討します。

○求職者担当者制の継続

ハローワークの支援を必要とする方に質の高いサービスを提供するため、丁寧な職業相談や迅速な情報提供など、窓口のスタッフによる支援をさらに充実させるため、現在行っている求職者担当者制の取組を継続します。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	就職支援ナビゲ ーターの支援による 正社員就職件数	障害者の就職件数
令和3年度実績	2,787	2,685	850	85.0%	299	9,075	1,196	334	205
過去3年度平均	2,940	2,812	919	90.0%	176	7,229	1,189	368	226
R2年度実績	2,596	2,524	925	88.8%	176	7,522	1,122	323	190
対 R2 比	107%	106%	91%	95%	169%	120%	106%	103%	107%
R1年度実績	2,903	2,764	914	88.4%	-	7,044	1,186	428	188
対 R1 比	96%	97%	92%	96%	-	128%	100%	78%	109%
H30 年度実績	3,322	3,148	917	92.8%	-	7,120	1,259	354	301
対 H30 比	83%	85%	92%	91%	-	127%	94%	94%	68%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク室蘭 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求人、求職のミスマッチの解消と未充足求人の充足促進について重点的に取り組みました。
また、インターネットを活用したハローワーク利用者の拡大を図りました。

ア 応募前職場見学の実施

求人、求職のミスマッチの解消と早期離職の抑制のため、応募を検討している求職者に応募前の職場見学を積極的に勧奨しました。
また、求人受理時に応募前職場見学のメリットを記載したリーフレットを求人者へ配布し、応募前見学可能求人の確保に取り組みました。

イ 事業所説明会の開催

人手不足産業や鉄鋼業など未充足が多い産業の事業所を中心に事業所説明会を開催し、未充足求人の充足促進に取り組みました。

ウ インターネット活用による利用者の拡大

- ・ハローワーク室蘭のホームページをスマートフォンからも閲覧しやすいデザインに変更しました。
- ・ハローワークインターネットサービスの求職登録や求職登録サイトへ接続するQRコードを記載した独自リーフレットを作成し、初めてハローワークを利用する方に求職者マイページの開設を呼びかけました。

また、求人者に対し求人者マイページのメリット等を分かりやすく記載した独自リーフレットを配布し、求人者マイページの利用促進を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人担当部門と紹介担当部門の連携を強化し、早期に充足するための取組を行いました。

ア 求人担当者制の実施

求人担当部門のスタッフが紹介部門のスタッフと連携し、求職者ニーズを基に求人者への情報提供や求人条件緩和等の提案を行い早期充足に取り組みました。

また、ピックアップ求人コーナーを設置し、ハローワークスタッフが事業所の採用担当者に聞いたインタビュー内容や同僚となる先輩からの声を掲示し、求人票では感じ取れない職場の雰囲気や求める人材イメージ等をわかりやすく伝えるよう工夫しました。

イ 求人充足会議のリニューアル

求人充足に向け求人充足会議に係る対象求人選定基準を見直し、新規受理求人に加え一定期間以上未充足が継続している求人や非正規社員求人についても対象求人としました。求人担当部門と紹介担当部門のスタッフが求人の内容について検討を行い早期充足に取り組むとともに、未充足求人については求人ブラッシュアップを行い、求人ごとの魅力など求人票に掲載された情報以外の内容を紹介担当部門において求職者に提供しました。

また、求人の変更点や聞き取った情報等は、室蘭所及びハローワークプラザ中島、登別市ふるさとハローワーク（ジョブガイドのぼりべつ）の職業相談業務を担当する全てのスタッフにメール送信し、スピーディーな情報共有を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

人口減少やコロナ禍でのライフスタイルの変化により求職者が減少する中、高齢者の求職者の割合が増加していることから、個人の適性や能力、就業ニーズを的確に把握し、キャリアを活かした希望に沿った職業生活を過ごせるようきめ細かな支援を実施するとともに、高齢者の就労しやすい求人、キャリアを活かせる求人の確保に取り組めます。

また、来所者へのサービスの充実や質の向上に向け、取組の工夫や職員の能力向上のため効果的な研修を実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求職者数が減少傾向にある中で、課題を抱えた求職者への支援が重要となることから、双方向性の求職者担当制による就職支援サービスを実施します。また、担当者制による手厚い支援を行うとともに、求職者の課題解決に向けては必要に応じ担当者だけでなく部門内で支援策を幅広く検討できる体制作りを検討し実施します。

また、庁舎外施設であるハローワークプラザ中島や登別市ふるさとハローワーク（ジョブガイドのぼりべつ）について、関係機関と連携し利用促進を図ります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の 就職件数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結び付いた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	2,211	2,009	572	77.9%	149	323	7,441	921
過去3年度平均	2,752	2,537	693	88.0%	166	325	7,350	1,074
R2年度実績	2,302	2,135	662	80.6%	147	325	6,942	921
対 R2 比	96%	94%	86%	96%	101%	99%	107%	100%
R1年度実績	2,883	2,651	711	92.3%	167	-	7,458	1,106
対 R1 比	76%	75%	80%	84%	89%	-	99%	83%
H30 年度実績	3,071	2,824	705	91.6%	185	-	7,650	1,194
対 H30 比	71%	71%	81%	85%	80%	-	97%	77%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク岩見沢 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、特に就職の指標の向上を最重要と考え、求職者担当者制を強化しました。支援対象者数は216名（前年度99名）、就職者は136名（前年度66名）となり、前年度を大きく上回りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、毎年接遇研修の実施や求人充足視点を意識した職業紹介と職業相談に必要となるラポール形成研修を実施しており、利用者に満足していただけるよう、日々研鑽に努めています。また職員も自己啓発に取り組んでおり、国家試験のキャリア・コンサルティング試験を受検する等日々の業務に生かせるよう取り組みを行っています。

③ 雇用調整助成金の早期支給

新型コロナウイルス感染症により雇用情勢に深刻な影響が及ぶ中、全所を挙げて雇用調整助成金の早期支給に取り組みました。受理後2週間以内の早期支給が行われるよう、支給申請書は速やかに審査を行い、概ね1週間程度で労働局へ送付しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① オンライン職業相談の開始

令和3年7月1日より一般求職者向けオンライン職業相談を開始しました。

令和3年12月20日より岩見沢市内職業訓練施設と連携し、訓練受講者向けオンライン職業相談を開始しました。

令和4年2月9日より美唄市内職業訓練施設と連携し、訓練受講者向けオンライン職業相談を開始しました。

② 求人者・求職者マイページの利用促進

令和3年12月21日より当所ホームページ上に「求人者マイページ」「求職者マイページ」のバナーを設けました。

事業所相談窓口、求職者相談窓口において、当所独自リーフレット及び本省作成リーフレットを活用し、マイページの利用を促しました。

③ 高年齢受給資格者認定日全員職業相談の開始

一般雇用保険受給者の認定日全員相談に加え、高年齢受給資格者の認定日全員相談を実施しています。高年齢者歓迎求人を中心に求

人提供し、そのニーズを丁寧に傾聴し、1件ずつ要件緩和に努める等の支援を実施しました。

④ 新規高卒者等就職促進会の開催

新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、2年ぶりに開催しました。参加生徒数は12名でしたが、延べ24名が面接または会社説明に参加し、7名が内定を得ました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

コロナ禍において、今年度については事業所訪問が消極的な傾向にありました。今後は感染防止対策を徹底した上で、積極的訪問に努めます。併せて、オンラインも活用しながら関係機関との連携を更に強化します。今年度重点的に取り組んだ求職者担当者制については、引き続き積極的に実施し、特に就職氷河期世代のマッチングを強化します。

① 求職者担当者制の積極的展開

特に就職氷河期世代のマッチングを強化し、就職率の向上に努めます。

② 求人者担当者制による充足サービスの強化

求人充足会議を定期開催し、積極的事業所訪問に努め、充足率の向上を図ります。

③ 職業訓練受講者とのオンライン職業相談の強化

職業訓練施設の協力も得ながら、オンライン職業相談について周知を進め、実施件数の増加を図ります。職業訓練については来年度も今年度と同様8科目70名程度の受講を見込んでおります。

④ 生活保護受給者等就労支援

生活保護受給者等就職支援ナビゲーターを活用して管内自治体との連携を更に強化し、生活保護受給中の求職者支援に加え、生活保護受給に至る一歩手前の生活困窮者のハローワークへの来所を促します。

⑤ 刑務所出所者就労支援

刑務所出所者就職支援ナビゲーターを活用して、月形刑務所との連携を更に強化し、出所前に就職が内定するよう個別支援に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

① 雇用保険説明会の再開について

令和4年2月から再開を予定していた雇用保険説明会については新型コロナウイルス感染急拡大に伴い再開を断念したところですが、感染状況を見極めつつ、適切な時期に再開をいたします。

② 「美唄市ふるさとハローワーク」(ジョブガイドびばい) について

美唄市との連携もあり、目標対象期間（令和2年10月～令和3年9月）の就職件数は296件となり、設置見直し基準の260件をクリアしました。

③ 管内求職者の年齢構成について

当所管内は高齢化が進んでおり、令和4年3月現在の55歳以上の新規求職者率は37.7%という状況です。通信機器に慣れない方もおり、オンラインでの職業相談より、対面での相談や電話での相談を好む傾向にあります。オンライン職業相談については求職者の希望に配慮しつつ、効果的活用を努めます。

2 特記事項

令和3年12月中旬から令和4年2月下旬にかけて大雪や吹雪に見舞われる日が多くあり、岩見沢市内においても、幹線道路をはじめとした除排雪が追いつかず、路線バスも頻繁に運転休止となり、市民生活に多大なる影響を及ぼしました。特に2月7日～9日及び2月21日～22日には雪害により道央圏のJRや高速バスが運転を休止したため、札幌・江別・美唄等遠方からの通勤者が多い当所においては、多くの職員や相談員が出勤できない状況となり、来所者サービスの維持には相当な努力を必要としました。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
令和3年度実績	1,238	1,188	399	70.6%	181	4,417	522		
過去3年度平均	1,383	1,280	488	80.0%	190	3,929	583		
R2年度実績	1,162	1,129	458	73.2%	190	3,856	478		
対 R2 比	106%	105%	87%	96%	95%	114%	109%		
R1年度実績	1,528	1,392	526	81.3%	-	3,990	619		
対 R1 比	81%	85%	75%	86%	-	110%	84%		
H30 年度実績	1,459	1,319	479	86.6%	-	3,941	651		
対 H30 比	84%	90%	83%	81%	-	112%	80%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク稚内 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職氷河期世代の不安定就労者・無業者に対するマッチング業務を最重要と考え、特にハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職氷河期世代（35歳～54歳）の不安定就労者・無業者の件数の指標の向上を目指して重点的に進めることとし求職者担当者制による課題解決支援サービスの強化などの取組を行いました。

求職者担当者については、95人の求職者を対象とし（うち氷河期世代60人）、履歴書や職務経歴書の添削等書類作成支援を37回（氷河期世代16回）行い、自選求人以外の求人提案を265件（氷河期世代170件）行い、64名（氷河期世代25名）が就職しました。

② 未充足求人対策

未充足求人事業所へのフォローとして「業所訪問による採用イメージの明確化」「求人内容のブラッシュアップ」「紹介担当スタッフとの情報共有」「企業PRシートの活用」を行いました。特に「企業PRシート」は、求職者が事業所および仕事内容をイメージできるように作成し、所内掲示スペースを拡充しました。「企業PRシート」が応募のきっかけや後押しとなり、紹介につながるケースも多く、また掲示コーナーを見た求人者から「企業PRシート」の作成・掲示希望の申し出があることもあり、好評を得ています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

管内公共施設・商業施設に配架している求人情報誌「週刊求人そうや」が次号発行日前に在庫切れになるなど一定のニーズがあることから、ハローワーク未利用の潜在的求職者が一定数いると思われたため、ハローワークのサービスメニューや、ハローワークインターネットサービス、求職者マイページ、オンライン登録についての周知リーフレットを最終ページに印刷し、潜在的求職者をハローワーク利用者として取り込むための取組を行いました。「週刊求人そうや」がきっかけでハローワークに来所し紹介を受け、就職に結びついたケースもありました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者数の減少については、引き続き「週刊求人そうや」などを通じて潜在的求職者の発掘に努めます。また若年層にアプローチするため、ホームページの内容充実やSNSを活用したリアルタイムでの情報発信等を行い、「ハローワークに来所しなくても受けられるハローワークのサービス」の積極的な周知に努めます。また、求職者担当者制、課題解決サービスなどのハローワークのサービスメニューの周知を行い、ハローワークの幅広い利用勧奨に努めます。

また、当所の重点指標として据えていた正社員求人数・就職数が、おおむね堅調に推移した一方で、パート求人や稚内市内以外の求人数が減少するなど、地域や雇用形態によっては求職者の選択肢が狭まっていることが懸念されます。離島や、片道60キロ以上の遠隔地域の求職者のニーズを逃さずキャッチするために、訪問に加え電話やマイページ等を活用した求人開拓を行い、多様な求人確保を目指します。

(4) その他業務運営についての分析等

当所では、オンライン紹介は2件、オンライン自主応募についてはまだ実績はありませんので、引き続き周知に努めます。今後、オンライン紹介・自主応募で不調が続く求職者がいる場合は、ハローワークの課題解決サービスを提案していきます。新型コロナウイルス感染症のまん延の影響により、求職者は転職を手控える傾向にあったこと、企業は雇用調整助成金や緊急雇用安定助成金を活用して雇用の維持に努めていたことなどから、新規求職者数が微増で終わり、「正社員求人数」「正社員就職件数」以外の指標において、令和2年度実績を上回ることができませんでした。

今後は、求人情報誌・ホームページなどから潜在的求職者の取り込みに努め、ハローワーク利用者となった求職者には求職者担当制、課題解決サービスなどきめ細かなサービスを行い、一人でも多くの求職者の方が就職できるよう、また、一件でも多くの求人が充足となるよう努めます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
令和3年度実績	596	557	150	66.0%	45	1824	193		
過去3年度平均	850	806	202	75.0%	59	1666	202		
R2年度実績	657	626	191	70.8%	59	1537	167		
対 R2 比	90%	88%	78%	93%	76%	118%	115%		
R1年度実績	994	945	192	73.3%	-	1770	220		
対 R1 比	59%	58%	78%	90%	-	103%	87%		
H30 年度実績	900	847	222	80.3%	-	1691	220		
対 H30 比	66%	65%	67%	82%	-	107%	87%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク岩内 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の指標の向上を目指して、求職者担当者制による課題解決支援サービスを重点的に進めることとし、求職者に適した求人情報の提供や応募書類の添削指導、面接指導等の支援に取り組みました。特に雇用保険受給者に対しては、雇用保険説明会や認定日に安定所へ来所した際に、求職者に適した求人票を提供できるよう事前に準備を行い、少なくとも一人に1件以上の求人票を提供できるよう努めることにより、早期再就職の支援を行いました。

また、充足件数の指標の向上を目指して、重点的に取り組んだことは、当所の特徴（窓口全員が職業相談と求人受理を担っている）を生かし、求人情報の的確な収集・蓄積、求職者情報の的確な把握・登録、情報の共有など、能動的・積極的マッチングを推進するために、急募求人・正社員求人を対象とした求人充足会議に取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、ハローワークインターネットサービスの利用促進を行うことを目的とし、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談担当職員を対象に求人者・求職者マイページ研修を実施しました。加えて、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえた業務運営上の工夫としてオンライン相談の積極的実施に対応できるよう、ZOOMを利用した職業相談の研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所の管内は広域にわたっており、安定所に来所することが困難な求職者や、俱知安分室管内において利用頻度が高い外国人求職者に対するサービス改善の一環として、また、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえた業務運営上の工夫及び改善策として、ZOOMやメール、電話を活用した柔軟な職業相談を実施しました。また、俱知安分室には英語を話せる相談員を配置し、日本語が読めない外国人に対するサービスとして、就職できる可能性がある求人の翻訳、求職申込書、資格決定時における求職者へのアンケート等の英語版の作成に努めました。

また、当所発行の求人情報誌に掲載する情報は限定的（求人情報や訓練情報のみ）でしたが、ハローワークシステムの刷新を踏まえた求職者マイページ登録の促進を目的として、その表紙にハローワークインターネットサービスのQRコードを掲載し、巻末に求職者マイページの利用案内を追加。さらに表紙には最終項まで見てもらえるよう改善を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所管内では事業所の閉鎖が続いており、大量離職を予定している企業の従業員に対する不安解消や課題解決サービスを行うため、関係機関と連携をしながら事前の説明会を開催し、個別の職業相談を行う等さらなる離職者対策に取り組むこととします。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、当所の俱知安分室管内の主要産業であるインバウンドに付随する業務としての「宿泊業・飲食サービス業」の業績が新型コロナウイルス感染症拡大により多大なる影響を受けたことにより、外国人客の減少や帰国等により新規求職申込が減少（外国人労働者の減少）し地域の雇用失業情勢に大きく影響を与えました。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	⑧正社員求人数 (必須指標)	⑨正社員就職件数 (必須指標)	所で選択 して記載	所で選択 して記載
令和3年度実績	626	555	166	58.1%	43	2,112	213		
過去3年度平均	774	736	225	60.0%	47	1,930	233		
R2年度実績	660	618	229	60.3%	47	1,737	198		
対R2比	94%	89%	72%	96%	91%	121%	107%		
R1年度実績	735	708	230	66.5%	/	2,091	227		
対R1比	85%	78%	72%	87%		101%	93%		
H30年度実績	926	883	216	70.6%		1,961	273		
対H30比	67%	62%	76%	82%		107%	78%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク留萌 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

全国的に若年の労働力の減少と非正規雇用労働者の増加が問題となっているなか、当所では、「ハローワークの職業紹介により正社員に結び付いた就職氷河期世代の不安定就労者・無業者の件数」の目標達成を最重要と考え、重点的に進めてきました。特に、就職促進を図る取組として、求職者個々の置かれた状況やニーズを的確に把握できるよう、きめ細かな職業相談・能動的な求人情報の提供等を実施したことにより、対象者に対する正社員求人の情報提供件数の目標数は令和4年3月末時点で200件でしたが、それを大きく上回る567件の求人情報の提供を行い、積極的な応募を呼びかけました。その結果、令和4年2月末時点での年間目標数である30件を上回る59件の就職に結びつけることができました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

新型コロナウイルス感染症の影響からオンラインを用いた職業相談に備え、他所の協力のもとオンライン職業相談研修を実施しました。また、ハローワークの各窓口では、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政等との共同研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

介護・看護分野の人材確保は喫緊の課題となっているところですが、当所管内の新規求人数の約3割が医療・福祉分野業界で、かつ応募者が少ないことから、通常発行している求人情報とは別に、介護分野に特化した求人情報誌を作成し、有効求職者のうち介護関係の仕事を希望している方、前職が介護職であった方、希望職種が定まっていない方等に対して、年2回（6月、2月）郵送し情報提供を行いました。情報提供を行った方の約3割が就職するという結果となりました。

このほか、新型コロナウイルス感染症の影響から求職者が減少していたため、求職者の就職の可能性を高めることを目的として、採否通知書の採用・不採用理由やコメントをグラフ等を用いた資料を作成しました。求職者との相談時に「管内事業所のナマの声であること」「成功（採用）事例、失敗（不採用）事例を参考に応募に向け準備すること」「未経験職種への応募であっても人柄や意欲で採用となっているケースもあること」等、一声かけて配布する取り組みを行いました。求職者からは、「地元企業の意見がまとめられているの

であります。」と好評を得ています。

また、管内の求職者の約3割が60歳以上と高齢化が進んでいるため、求人公開方法を、従来の求人公開用パソコンに加え、アナログ的な管内の有効求人を職種別に編纂した「求人公開ファイル」を作成しました。毎日、内容の更新を行っており、求人公開用パソコン以上に利用されております。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により急減していた求人は回復基調にある一方、管内で続く、少子高齢化の進展や若年層の人口流出による労働力人口の減少や新型コロナウイルス感染拡大に伴う求職活動を手控える傾向などから、新規求職者数が低い水準にとどまっております。

当所としては、ハローワークの実施する各種就職支援サービスの周知を強化し、新規求職者の確保に取り組んでいきたいと考えております。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響から、オンラインを活用した求人・求職の申込や職業相談の需要が増加する可能性があり、当所としても、その環境は整えているが、利用数は低調であることから、地方自治体をはじめ、関係機関と連携を図り、積極的な広報などに努めていきたいと考えております。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	420	383	88	71.0%	63	1114	154
過去3年度平均	507	462	107	69.0%	47	958	139
R2年度実績	454	424	85	66.4%	47	987	116
対 R2 比	92%	90%	103%	106%	134%	112%	132%
R1年度実績	509	453	121	74.2%	-	945	141
対 R1 比	82%	84%	72%	95%	-	117%	109%
H30 年度実績	557	509	115	64.9%	-	942	160
対 H30 比	75%	75%	76%	109%	-	118%	96%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク名寄 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

質の高いサービス提供を目指し、求職者担当者制による課題解決支援サービスの強化と求人充足サービスの強化に重点的に取り組みました。求職者担当者制においては、就職氷河期世代の求職者を中心に対象求職者の選定を行い、電話はDMによる求人情報の提供、予約制相談、書類作成・面接指導等の個別支援を積極的に実施しました。求人充足サービスにおいては、職業相談部門と事業所部門の連携を強化し、求人充足会議を定期的実施しました。求人充足会議で取り上げた求人を対象に求人者担当制により、能動的なマッチングから充足に至るまでのフォローアップを組織的な取組として実施しました。

また、ハローワークサービスを積極的に周知するとともに、求職者の利用しやすいハローワークを目指し、オンライン職業相談推進にも重点的に取り組みました。具体的な取組内容としては、①管内の大学や公共職業訓練施設との連携による実施、②各種会議等での当該サービスの周知、③求職者担当制の対象者への利用勧奨等を行いましたが、③の取組により遠隔地の求職者の利用につながり、当該サービス利用者からは、利便性が向上したとの声をいただきました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

質の高いサービス提供の一環として、職員の専門性の向上を目指し、積極的に各種研修（オンライン職業相談研修、接遇向上研修、労働基準法関係研修、職業紹介・職業相談の質向上のため研修等）を実施し、利用者に対する質の高いサービスを提供できるよう改善を図りました。

また、所独自リーフレット「ハローワークのサービスを利用しませんか」を作成し、ハローワーク業務の周知、広報に活用しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

当所ホームページの充実を始め、ハローワークの業務を知ってもらうための効果的な周知、広報の取組を強化するとともに、オンライン利用を含む利用してくれた方に対しては、個々のニーズを的確に捉えて、求職者担当者制や求人者担当者制を積極的に実施し、より質の高いサービス提供に取り組んでいきます。

また、新規求人数は増加傾向にあるものの、職種に偏りがあることから、雇用吸収力の高い職種や分野への再就職を促すなど、ミスマッチ解消の取組を進めます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症の影響により、遠隔地（枝幸町、浜頓別町、中頓別町、中川町、音威子府村）に居住する求職者の利用が低調となったことから、電話による通信紹介やオンライン職業相談等の各種サービスの周知を進め、利用向上に努めます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	HWの紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代	正社員求人	正社員就職件数		
令和3年度実績	719	680	167	63.7%	110	2,268	263		
過去3年度平均	884	802	205	77.0%	77	1,800	273		
R2年度実績	725	665	218	67.4%	77	1,811	232		
対 R2 比	99%	102%	76%	94%	142%	125%	113%		
R1年度実績	893	822	193	76.6%	-	1,735	283		
対 R1 比	80%	82%	86%	83%	-	130%	92%		
H30 年度実績	1,034	919	205	85.8%	-	1,854	304		
対 H30 比	69%	73%	81%	74%	-	122%	86%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク浦河 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・雇用保険受給者の早期再就職支援に重点を置き、具体的には以下の取組を実施しました。

上半期は緊急事態宣言の影響を受けて2ヶ月以上、認定日における職業相談が実施できませんでしたが、コロナ感染状況が落ち着いた時期には、認定日全員相談に備え、1週間前に認定対象者の把握とその時点でのマッチング求人の選定を行い、郵送等による求人情報の提供を行いました。更に、認定日前日に再度認定対象者の確認を行い、最新求人でのマッチングを行い、認定日当日に提供しました。マッチング求人がない求職者であっても、セミナーや訓練等の情報提供を行うとともに、求人状況等を説明の上、求職要件緩和も含めた相談を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・労働局主催の研修に積極的に参加させるとともに、所独自研修として、本所・分室の職業相談担当者に対して雇用関係助成金研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・求人充足会議について、開催時間を決めず、来庁者の様子を見ながら、担当者が職業相談部門全員に声をかける方法を新たに実施しました。求人内容の充実や求人者の考える人材イメージの所内共有など、求人と求職を結びつけるための有効な会議として機能しており、今後も更なる改善を行っていきます。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・令和3年9月に職業紹介システムが刷新され、求職者マイページや求人者マイページの機能が拡充されたことにより利便性は向上しましたが、その利用は低調であるため、今後、その周知や活用を図り、新機能を活用した求人・求職のマッチング力の向上を目指します。
- ・今後、これまで以上に質の高い職業相談サービスの提供が不可欠であることから、職員、相談員の資質向上のため、所内研修を充実させ、ハローワークを利用される方への支援力向上を目指します。また、コロナ禍で縮小せざるを得なかった事業所訪問を徐々に増やし、事業所

支援サービスを強化するとともに、管内雇用情勢の把握・分析をリアルタイムで行い、業務に役立てます。

(4) その他業務運営についての分析等

・管内は、地域特有の軽種馬関係や第一次産業の求人を多くいただいておりますが、求職登録状況とのアンバランス、いわゆるミスマッチ状態が続いています。求人者に対しては、求人内容の変更や条件緩和を提案して応募しやすい魅力ある求人票となるようにミスマッチの解消に努めます。

・求職者も多様化しており、その方に合わせた支援が求められます。職業相談部門全体が一つのチームとなり、就職支援を強化していきます。

2 特記事項

・主要指標目標について、各指標とも前年度比減となる中、雇用保険受給者の早期再就職件数は▲32.4%（2月末現在）と大きく減少しました。その大きな要因として雇用保険資格決定件数が▲21.0%となったことが影響していると考えられます。コロナ禍において、希望する職種の早期再就職が困難な状況から安易に退職することを避けたり、再就職先を決めてから退職する動きが一定数あったと分析しています。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職業紹介に より、正社員に結びついた 就職氷河期世代の不安定 就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数
令和3年度実績	617	550	123	71.5%	41	1,957	186
過去3年度平均	817	770	185	79.0%	33	1,896	223
R2年度実績	680	629	179	74.2%	33	1,742	190
対 R2 比	90%	87%	68%	96%	124%	112%	97%
R1年度実績	849	808	191	82.8%	-	1,851	233
対 R1 比	72%	68%	64%	86%	-	105%	79%
H30 年度実績	921	873	186	80.9%	-	2,096	247
対 H30 比	66%	63%	66%	88%	-	93%	75%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク網走 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、求職者・求人者のニーズに寄り添ったきめ細やかな就職支援サービス及び求人充足サービスの提供が最重要と考え、以下の項目について重点的な取り組みを行いました。

- ・求職者、求人者双方に対する支援サービスを一体的に実施することを目的とした「求職者担当者制及び求人担当者制実施要領」を策定し、職業相談部門の全ての窓口で、求職者には担当者制のリーフレットを活用した支援メニューの積極的な周知と課題解決支援サービスの提供等、求人者には求人票の作成から求人充足までの継続したフォローアップ等、求職者、求人者双方のニーズに合わせた継続的な個別支援を実施しました。
- ・職業相談部門の全ての窓口スタッフが求職者、求人者双方の専任の担当者となり質の高いサービスの提供を行える体制を確立するため、職業適性診断システム「キャリア・インサイト」やオンライン職業相談に関する実務研修等を行い、職員の専門性の向上を図りました。
- ・令和3年9月にハローワークインターネットサービスのオンラインサービスが拡充されたことに伴い、求職者マイページ、求人者マイページの利用促進及び開設支援を積極的に行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルスの感染予防から来所を控える利用者がいることや、新規求職者数が減少傾向にあることを踏まえ、ハローワーク業務の周知、利用促進について以下の項目の取り組みを行いました。

- ・当所ホームページの内容拡充として、月1回発行している3種類の月刊求人情報（正社員求人、60歳以上の方応募歓迎求人、人手不足分野や業種間・職種間移動を希望する求職者への支援に特化したピックアップ求人）、管内の職業訓練（ハロートレーニング）情報、担当者制による就職支援サービスやオンライン職業相談、オンライン就職支援セミナー等の求職者向け各種就職支援サービスの案内を新たに掲載しました。
- ・「ハローワークガイドあばしり～仕事をお探しの方へ」の刷新を行い、ハローワーク利用者へ配付及び当所ホームページへの掲載のほか、週刊求人情報を配置していただいている管内17か所の公共施設、商業施設に送付して地域住民へのハローワークの利用勧奨を依頼しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルスの感染拡大により開催を控えている雇用保険説明会（初回講習）について、感染予防対策を講じたうえで令和4年度から再開し、担当者制による個別支援、求職者マイページ、各種オンラインで利用できる支援メニューの周知、利用勧奨等を行い、雇用保険受給者の早期再就職促進に取り組みます。

また、ハローワークを利用していない潜在的求職者に対して、ホームページやSNSを活用した広報を積極的に行うとともに、ハローワークインターネットサービス上で「オンライン登録者」となった求職者にアプローチを行い、「ハローワーク利用登録者」への切り替え、課題解決支援サービスの提供を行います。

(4) その他業務運営についての分析等

【求職】

新規求職者数は以前から減少傾向にありましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業主都合を含む「離職者」の求職が多く前年比で増加していました。令和3年度はコロナの影響による離職者の求職は減少したと思われ、さらに雇用失業情勢の低迷が続いていることから転職を希望する「在職者」の求職も減少したと考えられ、前年比では大幅に減少しています。少子高齢化、進学希望者増加に伴う若年者の管外流出等の管内人口の減少傾向が続いており、令和4年度も求職者の増加は見込めないものと推測されることから、求職者の増加に向けた周知・利用勧奨を強化します。

また、求職者へ管内の労働市場等の情報を説明し、業種間・職種間の移動を視野に入れた求職活動を促し、就職促進、人手不足分野の求人充足を目指します。

【求人】

求人数は2年度の減少傾向から持ち直し、全体ではコロナ以前に回復していますが、産業別の状況は「建設」、「医療、福祉」の人出不足分野ではコロナ禍においても求人数は増加を続けており、観光関連である「飲食店、宿泊業」、「卸売業、小売業」ではコロナ前の水準に達していません。令和4年のGW時期に、観光の回復が期待されたところで遊覧船事故が影を落とし、回復の遅れが懸念されますが、観光関連産業は管内の主要産業であり、従業員数も4割程度を占めていることから、雇用調整助成金等の支援策を活用して雇用の維持を図る事業所に対しては迅速支給、支援制度改廃等の早期情報提供に努めます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの紹介によ り、正社員に結びついた 就職氷河期世代の不安 定就労者・無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
令和3年度実績	560	512	155	65.3%	46	1,509	191		
過去3年度平均	627	605	198	66.0%	56	1,490	220		
R2年度実績	580	584	209	61.0%	56	1,412	206		
対 R2 比	96%	87%	74%	107%	82%	106%	92%		
R1年度実績	635	606	175	64.5%	-	1,543	218		
対 R1 比	88%	84%	88%	101%	-	97%	87%		
H30 年度実績	666	625	209	71.2%	-	1,514	236		
対 H30 比	84%	81%	74%	91%	-	99%	80%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク苫小牧 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

コロナ禍にあって前年度に引き続き例年と異なる対応を求められる中ではありましたが、当所では、就職件数、充足数などの目標を達成するため、求職者については、求職者担当者制を充実強化させてきめ細やかな個別支援に重点的に取り組んだほか、求職者ニーズに応じた求人情報の提供、応募書類の添削指導や面接選考に向けた助言・指導などを積極的に実施しました。

また、求人者へは、管内の雇用失業情勢等を説明し、求職者ニーズに応じた求人条件の緩和等を積極的に展開するとともに、求人充足会議と連動した求人担当者制による求人充足の促進を図る取組を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ホームページの見やすさや利用しやすさを図るため、スマホ対応化や項目のボタン化など大幅なリニューアルを行いました。
- ・60歳以上の方歓迎求人情報に掲載する求人の情報量を増やし、充足可能性の向上を図りました。
- ・苫小牧民報に提供している求人情報欄をリニューアルし、ホームページのQRコードを掲載するなどハローワークの利用を勧奨しました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度は有効求人数に持ち直しの傾向が見られたものの、コロナ禍前の水準までは回復しませんでした。また、有効求職者数は昨年度より増加しましたが、コロナ禍での先行き不透明感からか応募に慎重な傾向がうかがえ、紹介件数は昨年度より更に減少しました。

このような状況の中、求職者の方々へは引き続き丁寧かつきめ細やかな職業相談を心掛け、求職者担当者制への積極的な誘導などにより相談件数、紹介件数の向上を意識しながら、職業相談窓口の活性化に取り組んで参ります。

また、来所を控える求職者の方々に対するオンライン相談、通信紹介など、コロナ禍における状況に応じたサービスを推進して参ります。

求人充足サービスにおいては、求職者ニーズを捉えた求人充足会議の充実、強化に積極的に取り組むとともに、求人の充足可能性を高める積極的、能動的な求人者サービス等を展開して参ります。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度においては、前年度に引き続きコロナ禍から窓口の利用を控えるお客様も多く、コロナ禍前と比べて紹介件数が大きく減少したことから、就職件数、充足件数も減少しました。

コロナ禍が継続している状況にあります。感染防止対策を徹底したうえで、各種支援サービスの周知を強化することにより窓口の利用促進を図り、お客様の状況や態様に応じた、担当者制を中心としたよりきめ細かなサービスの提供により、就職の促進に努めて参ります。

今後においても、コロナ禍等の影響による求職者ニーズの変化を的確に把握し、ニーズに応じた求人開拓の実施とともに、求人条件の見直しや、安心して働ける職場環境の整備に対する助言などにも積極的に取り組み、状況に応じた就職支援と求人者サービスを推進して参ります。

2 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により正社 員に結びついた就 職氷河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	障害者の就職件数	就職支援ナビゲー ターの支援による 正社員就職件数
令和3年度実績	2,203	2,147	953	63.9%	207	9,877	1,027	161	224
過去3年度平均	2,674	2,549	1,025	72.0%	239	9,898	1,271	157	285
R2年度実績	2,263	2,227	1,053	66.4%	239	9,852	1,102	126	283
対 R2 比	97%	96%	90%	96%	86%	100%	93%	127%	79%
R1年度実績	2,730	2,518	1,060	72.7%		9,728	1,286	161	288
対 R1 比	80%	85%	89%	87%		101%	79%	100%	77%
H30 年度実績	3,029	2,901	963	76.5%		10,114	1,426	184	283
対 H30 比	72%	74%	98%	83%		97%	72%	87%	79%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク根室 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

感染拡大が本格化し長期化する中、雇用調整助成金等の利用が拡大・増加しており、審査業務と複数の業務に併行して対処しなければならない小規模所のため、「コロナ関連助成金の周知の徹底」と「早期審査終了」を最優先として業務に取り組んできました。

また、課題として、①牧畜業、漁業、食品製造業の求人が占める割合が高く、現代的職業感で仕事を探す求職者との間のミスマッチが大きいため、指標向上にはその解消を図る必要があること、②全国に先駆けて人口減少と少子高齢化が進んでおり、管内1市4町は「持続可能」な開発として「高校生の地元採用・定着」等を重視しており、地域と連携して労働者の確保にあたる必要があることから、課題の解消を目的に、「求人担当者と職業相談担当者の連携と分担による充足・就職支援」、「地域との連携と分担による労働力確保・就職支援」について重点的に取り組みました。

「求人担当者と職業相談担当者の連携による充足・就職支援」については、求人担当者と職業相談担当者により日々随時相談し、また、職員を含めた3名で月2回ミーティングを行い、双方が相手方の管内情勢を確認するとともに、応募に至らない原因を探り、応募や採用につながる条件面の見直しの提案、既に登録している求職者の採用につながる要件緩和の提案、応募につなげた求職者が採用に至るよう「課題解消サービス」につなげる提案について検討し実施するよう取り組みました。

また、「地域との連携と分担による労働力確保・就職支援」については、振興局、教育局、根室市、中標津町ほか4町と商工会議所、商工会、中小企業家同友会等を定期的に訪問し意見交換を行い、根室市と南知床4町の二つの経済圏において「若年者の地元就職・定着」を目的として、①振興局長、教育局長、市長と共に、すべての商工会議所、商工会、中小企業家同友会を訪問し新卒安定就業を要請し、②根室市において「根室市職業体験学習（中学生）」を企画・開催準備（開催中止）し、「企業見学会（高校生）」「企業説明会（学卒・一般）」を開催し、③中標津町において南知床4町の商工会等と「企業説明会（学卒・一般）」を開催し、南知床4町雇用創造協議会が開催する「企業説明・面接会（学卒・一般）」において、企業や管外隣接市町村の高校生や求職者にも参加を募り参加者を拡大しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

相談員の専門性の向上として「課題解消サービス」にかかる研修（就職支援サービスの流れ、課題解消サービスの基本、求人情報の提供、応募書類の作成第1回まで）を実施し、サービスの向上に努めました。

「地域との連携と分担による労働力確保・就職支援」の取り組みにおいて、従来、高校卒業予定者を対象とした「企業説明会」について、高校生の減少と進学率の向上により参加者の減少が著しいことから、当所の働きかけで「学生」や「一般求職者」も参加できるよう対象を拡大しました。また、「南しれとこ4町雇用創造協議会」の主催する企業説明会、セミナーに対して、参加企業が少ないことを確認し、当所の要請で参加企業を増加させました。更に、従来、4町の高校生や求職者のみを案内や対象としてきたことについて、隣接市町村や越境入学が認められる釧路・網走管内の高等学校にも行い、管外からの参加（弟子屈高校1名）を得ました。

「マイページ」「オンライン相談」「電子申請」の利用促進として、i) 新規利用者へはリーフレットを使った周知を徹底しており、ii) 市町役場やワクチン接種会場（根室市のみ）でのリーフレットの配架（2回）を進め、iii) 全てのオンライン登録者への利用を働きかけ、iv) 求人情報紙や統計情報紙へ案内を掲載する等により確実に利用者を増やしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

雇用調整助成金等の利用の拡大・増加に対しては「早期審査終了」を最優先し、所長・統括が転入者・新規採用者に研修を行い、審査体制を図る。

また、「求人担当者と職業相談担当者の連携による充足・就職支援」を重視し、ニーズを的確に捉え伝えられるよう利用者アンケートの見直しを図り、ニーズに沿った求人票の作成、課題解消サービスの提案等が図れるよう対応を見直す。人手不足分野の求人充足においては、昨年、コロナ禍で実施できなかった業界団体との協力による職員・求職者による施設見学や職場環境の変化等のPRについてその実施を図る。

更に「地域との連携と分担による労働力確保・就職支援」については、引き続き、高校卒業予定者向けとしてきた「企業見学会」「企業説明会」「企業面接会」を、学生や一般求職者の参加も可能とするよう働きかけ拡大を図り、1市4町が労働力の確保として若年者の次にターゲットとしている「若年女性の地元定住」「高齢者・外国人の活用」等についても取材し、当所に協力できることについて連携し必要な対応を働きかける。

(4) その他業務運営についての分析等

根室市の3月末現在の人口は2万3793人となり、前年比801人の減少（3年で1割減少のペース）となった。これは、少子高齢化が著しく、進学先がないことや定年後の医療等の充実を求めた転出超過、外国人の入国制限が要因と思われる。

また、管内の新規求人数はピーク時の下方1割圏内で推移してきたが、現在はピーク時に近づいている。

更に、管内の新規求職者数は人口減少と少子高齢化、経済の安定の中で、毎年、5%前後の減少を続けており、昨年は、コロナ禍におい

ても国や自治体による手厚い金銭的支援があり、感染拡大を原因とする倒産や大量解雇等は発生せず、事業主都合による離職者の利用は減少し、感染を忌避して転職や求職活動も消極的となったことから退職等による離職者の利用や全体の紹介件数も減少となった。ただし、在職者の利用のみ前年比21.8%の増加となっており、緊急事態宣言の終了後、新規感染者に0人が続くようになった10月に新規求職者数や紹介件数がコロナ前の30～40%程度の増加となったことから、「今は情報を集めるに留め」「感染が落ち着いたら転職を図ろう」としている求職者が多いと分析している。

2 特記事項

管内は令和3年3月末において累計20人の新型コロナの新規感染者で済んでいましたが、令和3年5月の連休より感染拡大が本格化し、新規感染者数が令和4年3月末において1,140人となり、クラスターや専用病棟の満床、市町長による独自の「緊急事態」宣言等もあって、新規求職者を減らし（前年比▲2.5%、8月に最大▲31.2%）、紹介件数（前年比▲9.2%）を減らしたところでした。

しかし、一方で、9月末の緊急事態宣言終了後、在職者を中心に新規求職者を増やした時期（10月に前年比40%増）もあり、これは電話や郵送等による地道な職業相談、求人情報の提供等による働きかけが、宣言終了後、転職のタイミングを図っていた求職者に一定の効果となって現れた結果と評価します。

また、令和2年度の就職件数には、「医療業」や「公務」におけるコロナ対策の大量採用の実績が含まれており、感染拡大が本格化する中で、電話相談等の働きかけで相談件数を増やし（前年比0.6%増）、紹介件数が前年比▲9.2%減る中、就職件数を▲6.4%減にまで抑えたことを所長として高く評価します。

更に、①雇用調整助成金の利用が減らない中、不備のない限り審査を1週間以内に終えたこと、②管内における「事業主都合による離職」や「(コロナ対応にかかる医療・公務における令和2年度採用職員の退職手当への移行を除き)雇用保険被保険者喪失件数を減らした」こと、③在職中の求職者が21.8%も増える中、在職のまま就職につなげ離職者や無業者の利用を減少させたことを所長として評価しています。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	紹介率	④ハローワーク の職業紹介によ り、正社員に結 び付いた就職氷 河期世代（35歳 ～54歳）の不安 定就労者・無業 者の件数	⑧正社員求人 数	⑨正社員就職 件数
令和3年度実績	911	904	238	77.0%	102	2,954	308
過去3年度平均	1,112	1,026	276	87.0%	76	2,562	354
R2年度実績	974	924	265	82.7%	76	2,638	275
対R2比	93%	97%	89%	93%	134%	111%	112%
R1年度実績	1,132	1,037	260	87.2%	—	2,542	383
対R1比	80%	87%	91%	88%	—	116%	80%
H30年度実績	1,230	1,117	302	92.0%	—	2,507	404
対H30比	74%	80%	78%	83%	—	117%	76%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

ハローワーク札幌東 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

ア 職業相談窓口活性化の取組

当所では雇用保険受給者の早期再就職に資する取組を重視し、受給資格決定時の新規求職登録の際にハローワーク活用のメリットや早期再就職の重要性、再就職手当の活用促進について詳しく説明を行い再就職の意欲の向上また、職業相談窓口の積極的利用を促すため、新たにハローワークサービスメニューを紹介するリーフレットを作成し、求職登録時、受給資格決定時、初回認定日に手交するほか、待合フロアでのデジタルサイネージによるサービスメニューの紹介に取り組みました。

そのほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために昨年度から継続している電話相談については、窓口での周知の効果もあり令和3年度は1,203件の利用がありました。WEBによる職業相談等については、職業相談窓口等において周知に努めた結果、オンライン職業相談を3回、オンライン面接トレーニングの実施を10回、オンラインセミナーを3回、障害者向け面接会を1回実施しました。

イ 求職者のニーズに応じた個別支援の取組

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新規求職者の増減の波があったものの、窓口での職業相談時に丁寧な各種支援内容の説明に努め、対象者の選定を積極的に実施した結果、PDCA事業計画に係る取組内容の目標を、ほぼ達成することができました。

- ・正規職員（2名）による個別支援・・・支援対象者年間目標30人、実績37人。就職件数年間目標20件、実績23件。
- ・相談員（10名）による個別支援・・・支援対象者年間目標240人、実績303人。就職件数年間目標120件、実績151件。

ウ 早期求人公開への取り組み

求人受理から公開までの処理日数の縮減に向けて、週・日を予想した業務配置（求人者マイページ処理スタッフの人員配置を見直しなど）により効果的な業務運営となるように工夫し、求人者マイページの更なる利用促進を働きかけました。その結果、令和2年度までは4日程度かかっておりましたが、令和3年度上半期の処理日数は3日程度、下半期は2日程度になり、早期求人公開を行うことができました。

エ ミニ会社説明・面接会

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ソーシャルディスタンスを取れる会場の確保が困難なことから、なかなか実施できず、また、再開を予定していた令和3年9月9日の開催も緊急事態宣言が発令された為、やむなく中止となりましたが、その後、感染対策を徹底した上で1

1月に3日連続で6事業所、令和4年2月に2日間8事業所、3月にも2日間8事業所について実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

ア 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した職業相談等

新規求職登録時などに当該取扱について利用を促し、昨年度に引き続き電話による職業相談・紹介を実施しました。電話での対応件数は年間1,203件、月別では令和4年2月の166件が最大でした。感染者数の増減の波に比例して利用件数も増減しておりましたが、一定程度の周知が進んだことと感染者の増加傾向が続いた令和3年6月以降は利用が増加しております。

求人情報DMの実施については、緊要度が高い求職者や就職意欲が高い高年齢求職者を積極的に選定し、求職者支援専門員が条件を幅広くマッチングして情報提供を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により求人の職種に偏りもあり、マッチング可能な求人が少ない状況でしたが、紹介件数、紹介率は目標を達成しております。

- ① DM対象者数 年間目標 600人 実績 639人 達成率 106.5%
- ② 対象者紹介件数 年間目標 120件 実績 193件 達成率 160.8%
- ③ 紹介率 年間目標 20% 実績 30.2%

イ 求人者・求職者マイページの開設については、各種リーフレットの配架及びデジタルサイネージの活用による周知に取組んだほか、窓口での各種相談時に利便性の説明を行う等、積極的な利用促進を図りました。

ウ 面接会等の案内については、職業相談窓口に加え、給付課においても周知を図ったほか、Twitterを活用した広報の強化に取り組みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ア 上記(1)のエ「ミニ会社説明・面接会」について、令和4年度に「人材確保対策コーナー」が新規設置されることから、今後は「医療・福祉」分野を中心に、求職者の参加機会を増やすことを目的として、来庁者の多い時間帯に実施するなど、新型コロナウイルス感染対策を行いつつ効果的なサービスの拡大を図ることとし、求人者・求職者双方の人材確保支援に取り組みます。

また、ハローワーク札幌の人材確保対策コーナーとの連携により円滑な業務運営に取り組みます。

イ 求職者担当者制による個別支援は、着実に就職に結びつく取組であるため当所の支援内容の説明などを確実に求職者に行い、令和4年度においても継続して実施いたします。また、マッチング精度の向上や相談力アップを図るため、窓口スタッフへの各種研修に取り組むとと

もに、引き続き所独自セミナーの運営強化を図ります。

ウ オンライン職業相談については、一般求職者のほか障害求職者や職業訓練受講者等への周知を強化することによって利用を促します。
また、所独自のオンラインセミナーを引き続き実施するとともに、オンライン面接トレーニングの実施についても周知を強化し利用を促します。

エ コロナ禍の影響等により職種転換等を希望する求職者に対して、当所設置の JOB チェンジサポートコーナーの活用を促し、個別支援によるきめ細かな就職支援に取り組みます。

オ 職業相談部門と事業所部門が連携して求人充足会議を行っておりますが、連携を強化するとともに求人者・求職者ニーズの集約や共有を図り、引き続き求人充足支援サービスの向上を図ります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険受給者の早期再就職件数	紹介率	生活保護	障害者	氷河期	職業訓練	マザーズ	正社員 求人数	正社員 就職件数
令和3年度実績	5,134	4,542	3,530	77.5%	76.4%	764	485	628	94.9%	23,446	2,253
過去3年度平均	6,139	5,611	4,291	95.0%	68.0%	783	481	708	94.0%	23,967	2,821
R2年度実績	5,333	4,728	4,020	88.5%	71.7%	732	481	665	94.2%	22,101	2,488
対 R2 比	96%	96%	81%	87%	106%	104%	90%	93%	100%	106%	90%
R1年度実績	6,275	5,818	4,444	93.8%	67.1%	779		678	92.7%	24,487	2,819
対 R1 比	81%	78%	73%	82%	113%	98%		92%	102%	95%	79%
H30 年度実績	6,810	6,288	4,410	104.0%	66.5%	839		775	93.7%	25,313	3,155
対 H30 比	75%	72%	74%	74%	114%	91%		81%	101%	92%	71%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク札幌北 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、業務目安値を定め、「就職件数」、「充足数」、「雇用保険受給者の早期再就職件数」の目標達成を最重要と考え、次のとおり重点的に取り組みを進めました。

・「就職件数」については、求職者の状態に応じた丁寧できめ細かな職業相談、予約相談による的確なニーズの見極めのもとでの支援、双方向形式の求職者担当制による対象者ごとに事前マッチングや求職活動に関する助言、履歴書・職務経歴書の作成支援等を行いました。

・「充足数」については、求人動向及び求職者ニーズ等を常に意識した求人充足会議を毎週実施し、選定求人の充足に向け、求人条件緩和の提案、求人担当者制による求人充足サービスを実施しました。

・「雇用保険受給者の早期再就職件数」については、緊急事態宣言中以外は、初回認定日全員相談を実施し、丁寧な相談、マッチング求人の提供、給付制限中の来所勧奨を行いました。

・求職者担当制については、対象者選定にアンケートを実施し、就職支援ナビゲーターが初回相談において意向を把握し、選定を実施しました。

・就職氷河期世代の求職者に対して、ニーズを把握し不安定就労者再チャレンジ支援事業、職業訓練への誘導及び職場実習・見学等、状況に応じた支援を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

・7月に開設した「JOB-チェンジ」サポートコーナーにおいて、支援対象者に対し、希望や課題（不安）などを十分聴取し、人材不足分野への職種転換の提案も行なったほか、職種転換が必要な求職者に対して、資格取得を要する場合など、各種職業訓練の内容及び支援金等の説明を行う体制を整え、相談を行いました。

・新型コロナウイルス感染症による影響を受け、年度当初は人材不足分野のミニ面接会を開催できませんでしたが、10月から再開し求職者の誘導を図りました。

・外出を控えている求職者等に対して、電話による相談・紹介のほか、PC等を活用したオンライン相談を実施していることの周知を積極的に行い、感染リスクを抑えての職業相談の取り組みを展開しました。

・毎週、介護職・看護職・保育士及び幼稚園教諭の求人情報誌を発行し、人手不足分野に対する充足サービスを実施しました。

・10月から再開した初回認定日相談において、全員に「日刊ハローワーク求人情報」を提供し、興味のある職種を確認する取組みを行い、個別支援対象者に対しては予約相談の際に事前マッチングを実施して相談の幅を広げるなどの対応を実施しました。

・就職氷河期世代の求職者に対して、ニーズを把握し不安定就労者再チャレンジ支援事業、職業訓練への誘導及び職場実習・見学等、状況に応じた支援を行いました。

・積極的な訓練の受講を促すため、引き続きポスター掲示、リーフレット配架、サイネージによる視覚的情報の提供等を行いました。また、所内各課部門に常に情報提供を行い訓練が必要と思われる求職者を積極的に誘導する取組みを実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

・来所し窓口を利用する求職者に対し、積極的な求人情報の提供、能動的マッチング、求職者担当者制等の支援サービスを継続して実施します。

・求人充足のための取組（求人充足会議、求人担当者制等）は効果を見極めつつ、実施すべき内容を決定していくこととします。

・感染防止対策を徹底し、対象者の意向を踏まえたうえで、求人者マイページの利用促進、求人充足や求人開拓のために事業所訪問を実施します。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問困難となった場合は状況に応じて電話等により行うこととし臨機応変に対応します。

・積極的な訓練の受講を促すため、引き続きポスター掲示、リーフレット配架、サイネージによる視覚的情報の提供等を行っています。また、所内各課部門に常に情報提供を行い訓練が必要と思われる求職者を積極的に誘導する取組みを継続します。

・新型コロナウイルス感染症の影響による離職者等の就職促進のため、「JOB-チェンジ」サポートコーナーを中心とした業職種転換に係る支援や就職支援ナビゲーターによる個別支援を行います。

・所員の資質・専門性向上のため、各種研修へ参加します。

(4) その他業務運営についての分析等

・新型コロナウイルス感染症による影響を受けた求職者数が、予想に反して増えなかったこと、また、住居確保給付金、自立支援金の利用者登録が増えたことにより、証明を求める目的の求職者が増えたことが影響し、積極的な求職活動を行う求職者は減少しており、その結果、窓口での相談件数は9.1%増加した一方、紹介件数（▲14.2%）、就職件数（▲8.8%）とも昨年度から減少した。今後は見通しがはっきりしないが、引き続き求職者に寄り添った確かな求職者ニーズの把握に努め、丁寧かつきめ細かな個別支援、雇用保険受給者に対する効果的な就職支援メニューの提供を行います。

2 特記事項

- ・令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の影響による求職者等への来所制限（失業認定申告書の郵送など）、セミナー及び面接会などの集客型イベントの中止など、計画していた活動を自粛せざるを得ませんでした。
- ・また、外出自粛の影響から、来所される求職者の活動数減少、及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けた業種からの求人が減少しました。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	障害者の就職件数	公的職業訓練の3 ヶ月後の就職件数
令和3年度実績	3,174	3,734	2,375	67.6%	716	18,364	1,536	481	344
過去3年度平均	4,093	4,600	3,026	89.0%	475	19,098	2,075	526	378
R2年度実績	3,483	3,990	2,866	76.2%	475	19,498	1,699	524	343
対R2比	91%	93%	82%	88%	150%	94%	90%	91%	100%
R1年度実績	4,239	4,724	3,124	88.9%		18,616	2,136	520	349
対R1比	74%	79%	76%	76%		98%	71%	92%	98%
H30年度実績	4,557	5,087	3,089	101.2%		19,181	2,391	535	442
対H30比	69%	73%	76%	66%		95%	64%	89%	77%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク千歳 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 雇用調整助成金の速やかな支給決定

年度当初から雇用調整助成金の申請件数の高止まりが続き、事業継続や従業員の雇用維持に懸命に取り組んでいる企業への効果的な支援の重要な柱として、令和2年度に引き続き、雇用調整助成金の速やかな審査・支給決定が行えるよう努めてきた。

② 求職者担当者制による課題解決支援サービス提供強化

求職者担当者制を強化するため、常時個別支援する求職者の目標数をナビ級相談員10名、一般相談員5名以上に設定し、就職支援サービスを展開。求職者ニーズに応じたオーダーメイド型就職支援サービス〔求人票郵送提供/履歴書・職歴書作成支援/模擬面接〕を利用選択できる記入式リーフレットを活用し、一般職業相談窓口や就職支援セミナー参加者などに就職に向けた付加価値サービスとして積極的に利用勧奨を実施した。

③ 求人充足サービスの強化（職業相談部門と事業所部門の連携強化）

求人充足サービスの強化として、新着求人を毎日職相・事業所部門内で回覧。加えて当番制により新着求人に対するマッチング作業を行い、求職者に対してDMにより情報提供。こうした一連の確認作業を通じて鮮度の高い求人情報を日々職業相談部門全スタッフが蓄積し、リアルタイムで雇用保険失業認定日や個別支援対象者などとの職業相談場面において求職者ニーズに応じて情報提供。

さらに令和3年4月から新たに「求人充足会議」のあり方を見直した。これまで以上に職業相談・事業所部門との連携を強化した「間接的全員参加型」充足会議として、全てのスタッフがそれぞれの視点から感じた意見を出し合うことで、求人票以上の情報を収集し、各スタッフが抱える支援対象者への情報提供や、窓口などでの情報発信をしている。充足会議で取り上げた求人については、職相部門から出された求人内容に関する意見、疑義を事業主より聴取し、網羅できるものは求人票に反映させる取組みを実施した。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

① オンライン職業紹介サービスの充実

千歳所オリジナル「就職支援セミナー〔HW活用ミニセミナー/書類作成〕」について、緊急事態宣言発令〔5/16～6/20〕を受け急遽、集合方式からオンライン方式によって代替開催。参加者視点で新型コロナ感染リスクの解消、移動に伴う費用・時間的負担軽減の中でサービス享受が可能となること、運営面においては感染対策を講じるために参加人数の制約に縛られることなく、かつ開催中止に係る業務負担が大幅に軽減されるメリットなどを勘案し、ウィズコロナ、ハローワークシステム追加リリースを踏まえて、積極的にサービスメニューに取り入れるよう取組みを改善。こうした取組みを継続した結果、講師スタッフ（相談員）を中心にZOOMによるプレゼン力向上やZOOM操作及び機器セッティングなどの習熟度が高まり、さらにオンライン仕様のセミナーカリキュラムやテキスト内容の充実などへの業務課題に意欲的に取り組む意識が醸成されるなど、サービス向上の動機付けが図られる結果となった。

② 「令和4年3月新規高卒者に係る採用意向調査」及び「企業説明会」の開催

6月1日高卒求人受理開始に先立ち、昨年度より前倒しかつ対象企業を拡大し、管内企業151社に対して採用意向調査を実施。採用動向をいち早く把握し事業所部門と連携のうえ、早期求人確保に努め、併せて求人確保に向けて地域社会の理解が得られるよう、「千歳市政記者クラブ（加盟17社）」に早期求人募集勧奨メッセージをプレスリリースすると共に、北海道新聞社千歳支局に対しては個別に広報協力依頼をおこなった。〔令和3年6月3日（木）北海道新聞朝刊地域版に記事掲載〕

さらに、昨年度低調に終わった「高卒者就職促進会〔令和2年12月7日（月）〕」の開催時期を見直し、令和3年8月4日（水）に早め「企業説明会」として実施した。新型コロナ感染拡大防止の観点から種々の制約があったものの、企業18社、生徒43名、報道機関1社の参加があり、生徒や企業採用担当者アンケートの回答などから「参考になった」「有意義だった」との評価を得る結果となる。

【併せて自衛隊千歳地域事務所及び千歳警察署の相談ブースを設置し、人材確保に向けたハローワーク支援を行う中で、地域行政との日常的なネットワーク作りに努めた。

③ 求職者マイページの利用促進

求職者マイページの周知として、所独自に作成した「求職者マイページ周知リーフ」を活用し、求職受理時を含め相談窓口にてネット操作不可以外の方にはメリットを丁寧に説明するなど利用勧奨を行っている。（求職申込書に新たにメールアドレス及び求職者マイページ利用希望有無の記載欄追加）ハローワーク利用者層以外への広報については、管内自治体と協働でマッチングイベントを企画し、ハローワーク相談ブースを開設、また、管内の集客力の高いスーパーやドラッグストアにリーフを配置するなど求職者掘り起こしに努めている。また、求人検索パソコンのみの利用者にも目に触れるよう「求人検索PC用カードサイズリーフ」を作成し、周知、利用勧奨の強化を実施している。

④ 求人者マイページの利用促進

「求人者マイページ開設」に関し、マイページ求人を優先的に処理、公開していくという独自リーフレットを作成し、千歳所ホームページで公開するとともに、北海道労働局開設の各種SNSにも掲載。未開設の求人申込事業所には、窓口での求人受理時をはじめ、求人開拓、求人更新時、さらには最低賃金改定を知らせるタイミングを見計らって、随時、リーフレットを手交・郵送・FAXすることにより周知を行っている。

⑤ ミニ企業説明・面接会の再開

緊急事態宣言の解除および各種規制・制限の緩和により、求人者の採用意欲が高まり、求人充足のニーズが増大することが予想されたため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2年3月上旬から実施できていなかった「ミニ企業説明・面接会」を令和4年11月から再開した。

(3) 今後のサービス改善・業務の改善の取組について

① ハローワークサービス提供の取組み

令和3年度の新規求職申込者数は対前年比で5.1ポイント減少したが、月間求職者数は対前年比で3.8ポイント増加した。

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、徐々に経済活動も回復している状況ではあるが、また感染が拡大する可能性も否定できない状況下であることから、引き続き職員の専門的知識の向上を図りつつ、サービス提供の充実を検討していきたいと考えている。

また、ホームページやSNSを軸としたWEBを活用した広報、サービスの周知を強化し、ハローワークサービスを知らない層にはハローワークを知ってもらい、サービスを利用したことがない層にはサービスを体感してもらい、サービスの充実・質の高い支援を確実に提供できるよう努めたいと考えている。

更には、求人の内容の正確性、適格性の確保等、きめ細やかな求人者支援サービスの取組みを引続き推進したいと考えている。

② 恵庭市地域職業相談室（ふるさとHW）の就職件数実績向上への取組強化について

ア 恵庭市募集求人について、ハローワークにおいて確実に求人受理を行い求職者に対して求人情報提供を実施。

イ 恵庭市と連携のうえ市内主要企業及び進出企業に対して、ハローワークへの求人提出要請を実施。

エ 施設利用勧奨リーフレット等について、市の広報・HP・SNS・市役所各施設において積極的な周知を展開

③ 求人充足のための取組みの継続

「間接的全員参加型」求人充足会議の定期開催、ピックアップ求人掲載コーナーの利用を図るなど充足支援に努めた。

(4) その他業務運営についての分析等

① 管内自治体と連携のうえ各種就職マッチングイベントを積極的に展開し職業紹介サービスの提供推進に努めた。

【千歳市】

「保育士・幼稚園教諭合同就職面接・説明会」〔主催：千歳市・ハローワーク千歳〕令和3年10月3日（日）開催

〔開催会場：北ガス文化ホール（市民文化ホール）〕

【恵庭市】

恵庭市との雇用対策推進に係る連携〔恵庭地域職業相談室（ふるさとハローワーク）における、就職実績等の向上に向けた取組強化（「生涯現役支援窓口事業強化含む）を行った。管内企業に対する人材不足分野への充足支援や働き方改革推進の観点などから、新たに恵庭市と試行的に下記マッチングイベントに係る講師・運営スタッフ派遣などの事業協力を実施。

〔開催会場：恵庭市民会館各会議室 講師：HW千歳職員・北海道働き方改革支援センター職員〕

ア 「求職者向けセミナー」：高齢者や女性を主なターゲットとして、ハローワークの活用方法や求人票の見方などのセミナーを年2回

〔開催：令和3年7月20日（火）・令和4年1月21日（金）〕

イ 「企業向けセミナー」：企業採用担当者向けに、採用ノウハウや働き方改革についてセミナーを開催。

【緊急事態宣言発令に伴い令和3年9月2日（木）開催中止】

ウ 「就職相談会」：参加企業からハローワークへの求人票提出などを条件として企業を3社選定し、企業プレゼンテーションと個別ブースでの相談会を開催〔令和3年10月8日（金）〕

② 外国人雇用セミナーの開催

国の「外国人雇用対策のあり方検討会」からの中間報告及び事務局である本省の外国人雇用対策課からの依頼に応え、千歳商工会議所と連携したイベント「はじめての外国人雇用セミナー」を全国でも珍しいパネルディスカッション形式で令和4年1月13日（木）に開催し、42社（約70名）が参加し、アンケートでは参加者の97%から「満足」という回答が得られた。

2 特記事項

新型コロナウイルス感染拡大にともなう求職者マインドの変化や新千歳空港関連業務の求人需要減少など、コロナ禍における機動的な業務運営がより一層求められる状況となっている。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河世代の 不安定就労者・無 業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数	⑦マザーズハロー ワーク事業におけ る担当者制による 就職支援を受けた 重点支援対象者の 就職率	所で選択 して記載
令和3年度実績	1,515	1,364	743	66.2%	121	5,576	656	93.4%	
過去3年度平均	1,804	1,669	922	73.0%	178	5,496	799	100%	
R2年度実績	1,562	1,383	939	69.0%	178	5,100	680	97%	
対 R2 比	96%	98%	79%	95%	67%	109%	96%	96%	
R1年度実績	1,792	1,685	953	69.5%	-	5,713	796	94%	
対 R1 比	84%	80%	77%	95%	-	97%	82%	99%	
H30 年度実績	2,057	1,940	875	81.6%	-	5,674	920	94%	
対 H30 比	73%	70%	84%	81%	-	98%	71%	98%	

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。